

【小山地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
財政見直しにおいて、税収の額は見込んでいるのか？	財政課長	今後、市民税は微増となり、その推移を見込んでいる。
使用料・減免基準の見直しの考え方について。峠部落では、市の土地に部落公民館があるが、その使用料も見直し対象となるのか？	行政経営室主幹	お話の件は普通財産の貸付となるが、今回は公の施設の使用料が対象。将来的な検討材料とはなり得るが、今回は見込んでいない。
	市長	部落公民館は将来的にも見直しの対象とはしない。 地区センター体育館など利用した分は負担していただきたいというもの。
競馬場にかかなりの負担金が発生しているとの噂を聞いているが、今回の計画ではどうなっているのか？	財政課長	82.5億円を組合に融資し、県から57.5億円借りている。それを毎年2億円返済しており、残は28億円。
	市長	県、盛岡、奥州で組合の存続枠組を決めたもの。毎年公債費で20億円借りて、25億円を返済している。返済する前提で計画には組み込んでいるので、そのことで財政の足を引っ張ることにはならない。
市の財政の説明だけであったが、市民はどう協力すればいいのかが書いていない。例えば増税などは考えられるのか？	市長	市税を上げることは考えていない。 無料で使っていた体育館で料金を支払うことになったり、複数施設を統合することで多少の不便を強いることはあるというもの。
	及川副市長	3つのスキー場がある。本当に3つが必要なのかというところから取り組んでいるところ。地元ですれば、無いよりあった方がいいというのは当然だが。
	市長	3つのスキー場で6,500万円の維持費がかかっている。そのお金を別のところにとということ。分かりやすく言えば、3つの中学校が1つになることで、年輩の方からは抵抗があったが、今の子供たちは部活も選べ強くなるなど、良くなったと喜んでいる。

【南都田地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
P1の市の財政状況について。想定以上の収入減少とは交付税以外に何があげられるか？	財政課長	他要因としては、歳出規模を歳入に見合うほど減らせなかったことがあげられる。
市、議会、市民が三位一体となって前進することで成り立つが、議員報酬を上げたのはいつであったか？	行政経営室主幹	平成29年であった。

<p>このような状況であるのが分かっているのに、議員報酬を上げたことには理解ができないと感じている。</p> <p>職員人件費について、ネットで調べると奥州市の初任給は県内で大卒が31中27位、短大、高卒は最下位となっている。しかし、議員報酬は県内5位、議員定数は3位。議会は全く改革されていないのではないか。</p>	市長	<p>議員については、1人当たりの報酬単価は上がったが定数より2人欠員があり、大きく増高しているものではない。更なる定数の削減も考えなければならない。議員自らが議会改革してもらわないとならない。</p> <p>交付税が減ったのはその通りだが、歳出が減らなかったのは5つを1つにまとめることに議会より了承が得られなかったこともある。議会で認めてもらえなかったことは他にも山ほどあった。</p> <p>合併しなかったら胆沢中学校や南都田地区センターの新築、圍場整備はできなかったら。私の力不足ではあるが、議会が行革に対してどう考えるか、後押ししてくれる議員が増えることを願うところである。</p>
<p>普通交付税のH29-30での減が一つの要因とのことだが、これは奥州市だけのことなのか？他も同様なのではないか？北上、金ケ崎も同じか？</p>	市長	<p>合併による上乗せをもらっていた時期があった。減ることは理解していたが想定通りではなかった。北上、金ケ崎は合併の上乗せがなかったので若干の目減り。奥州市は一つの財布を5つで使っていたことによるダブルパンチであった。身の丈以上の金を使っていたところを直しきれなかった。合併時のサービスは高い方、負担は低い方にこだわる人も多かった。</p>
<p>財政再建の話であったが、この部分は伸ばしていきたいという市長の考えはあるのか？</p>	市長	<p>地区や部落などで10の力を集めて改善したいという取組には協働の力で支援していきたい。上から牡丹餅で待っているだけではなく、やるところに支援を厚くする。平準ではなく多少の地域差が出て仕方がないと思う。若い人で何かをやりたいという人も多く、そのエネルギーも大きい。</p> <p>もうひとつは子育て環境の充実。行革をしながら、教育、医療などの必要な部分は伸ばしていく。そのための構造改革と捉えていただければ。</p>
<p>財政再建のためには小さいことの積み重ねが大切ではないか。例えば、北上市の広報は表紙と裏表紙のみがカラーであるが、奥州市は全ページがカラーである。</p>	市長	<p>非常に参考となるご意見。有能な経営者は1円からの改革を唱える。広報がフルカラーだったものが表紙のみカラーとなることで、奥州市の財政も苦しいという示しにもなる。</p>
<p>地区センターの新築に感謝しているが、体育館の電気料がかかることを実感している。かつて胆沢体育館は使用料が無料であったが、管理経費が100万円以上かかっているとのことであった。地区センターの付加使用料が現在の200円、400円で本当にいいものかどうか。値上げをするべきではないか。</p>	市長	<p>使用料の見直しについては、利用者も共感してくれるのではないかと思います。無料だと電気だけつけて話し語りだけで帰ることもあるが、料金がかかるとしっかりと練習をしなければならないと思うことにもなる。無料ほど有難くなく、高くつくということもある。</p>

【水沢地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
<p>温泉の民営化について、議会に請願が出され採択されたが、その後説明会等を行ったのか。</p>	行政経営室主幹	<p>衣川荘は商業観光課で説明し、現在募集している公募につながった。</p> <p>ひめかゆは、3セク会社ひめかゆを候補者として交渉中。</p>
<p>令和元年度以降、交付税は横ばいなのに、財政調整基金が減るのはなぜか。</p>	行政経営室主幹	<p>令和2年度は、特殊要因として震災特交の5億円と下水道の会計が変わったことによる5億円があった。</p>
	市長	<p>合併してから、特例で下駄を履かせていた。それが無くなる。</p>
<p>資料p3補助金・負担金の見直しで、指定管理料も対象か。</p>	行政経営室主幹	<p>指定管理料は対象外。</p>

資料 p 4 使用料・減免基準について、町内会の会議も対象か。市が使う場合は。	行政経営室主幹	利用料金制の施設については、使用料が増えれば指定管理料は減る。町内会も対象。市が使う場合も払う。
	市長	町内会からも取るのかと思うかもしれないが、自前の会館を持って維持管理している町内会もあるので、使用料をいただく方が公平だという考え方もある。
人件費の削減に関し、職員数の削減、選挙の投票所の見直しは。	行政経営室主幹	職員数は、定員管理計画に基づき進める。投票所の集約はご意見として承る。
	市長	選挙管理委員会の佐々木前委員長も、今の鈴木委員長も、投票所を再編することで考えている。
「一つの財布から5つの出費をしてきたが、これからは出費も一つに」との説明があったが、どのようにして一つにしようとしているのか。	行政経営室主幹	地域の特色のある事業を減らせなかった。
	市長	例えば、国からは、胆江医療圏の病院の数は多いので整理統合したらいかかとの話があった。強く抗議したが、無視はできない。児童数が5～10人の学校をいつまで残すか。統合すれば、コストも教育も先生の負担も改善される。成功例が胆沢中。統合してからはだれも文句を言う人はいない。むしろ、もっと早く統合した方がよかったという声さえある。前沢小も同じ。江刺の田原中は、地元から統合の話があり一気に進んだ。
競馬場について、出資しているが返ってきているか。先程から話がある節約だけでなく、外から来る人に何かにぎわいをつくれぬか。	市長	当時、水沢市にトータルで100億円は入った。330億融資のうちの25%、約83億を貸している。2,500～3,000人が従事しているとも言われており、300億ものお金が動くのは大企業があるのと同じ。
	財務部長	競馬組合への融資について、H19年3月に奥州市は82.4億年融資した。そのうち24.9億は自己資金、57.5億を県から借り、毎年2.25億円返済している。R元年度末の残高は28億円。
温泉について、民間移譲し活性化して欲しい。様々な温泉に行くが、民間の方がサービスがよい。思い切ってやって欲しい。	市長	市の温泉でサービスに限界があるのは条例で縛られているから。
説明を聞いて今までわからなかったことが分かった。今回の説明会の開催について最近知ったが、HPに掲載されていなかったのでは。もっと早く知っていればSNSで拡散できた。	行政経営室主幹	5月広報で周知した。HPにも掲載したが、わかりづらかったとすれば反省点。

【水沢南地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
管理している宇宙遊学館においても入館料が見直しとなるようで安心している。市民税は一定程度取られていると思うが、交付税はなぜここまで減少したのか？	行政経営室主幹	国の税収の一定程度を地方に配分するのが交付税。地方の不均衡を是正するため、財政力に応じて配分している。地方税の税収が増えれば、交付税は減る仕組み。合併特例で旧市町村の財政力により5つが合算されて交付されており、合併10年後から5年かけて段階的に減ることになっていた。その減り幅が想定以上に大きかったことが要因。

	市長	補助金は目的に合わせて交付されるもの。交付税は自由に使っていいもので、人口や面積等による算定。合併しない場合と同水準で10年間は交付されていたが、この10年間で人口が大きく減った。1人人口が増えると交付金は約70万円増えるが、逆に人口が減れば減る。国も借金を重ねていることから、交付税の総額も減っている。合併特例と人口減少、国の財源という3つの要素が重なり、交付税が減少した。
市民税、住民税の税収はどのように推移しているのか？	行政経営室主幹	市税の推移はほぼ横ばい。
それを資料に示さない理由は何か？	行政経営室主幹	さほど大きな変化はなかったため、資料では示さなかった。
	市長	その部分は極めて重要。市税が増えれば交付税は減る仕組みである。
税収において、産業別にはどのくらい集まっているのか？ 都心の企業が進出しているが、税収への影響は？	市長	本社の所在地に事業税は納付されるが、固定資産税、従業員の住民税などは市。本社がどこであろうと一定の効果はある。 財政白書で詳しくは示しているが、農業所得からの税収は多い。大きな税収は固定資産税と住民税。事業税は10～15億円程度だが、固定資産税で100億円以上となっている。
土地開発公社の説明はあったが、温泉、スキー場の経営についてはどう考えているのか？	市長	スキー場は夏油は5月まで営業できるが、かかる経費は一緒。年間180日営業できるところと60日のところで比較しても経営できるはずもない。スキー場と温泉については徹底的に整理する。ある地域に行くと総スカンを食うことにはなるが。
財政健全化の検討において、他自治体を参考としたことや、大学などの専門的な指導は仰いだのか？	市長	専門家の意見については、この中身は小学生でもわかること。1万円のお年玉では2万円のものを買えない。今の奥州市は1万円で1万5千円の買い物をしているようなもの。身の丈のあった支出規模に改善していこうとするもの。 今後は、令和スタイルのまちづくりが求められる。偉人、物産、農業の力などを最大限に生かし、未来志向で行かなければならない。
使用料・減免について。半分は利用者負担とのことだが、その対象団体のリストを考えていただきたい。公共団体、公共的団体は何を指すのかが分かりづらい。公共的団体であれば、使用料ゼロでもいいのではという所もある。この団体はゼロにするとう部分を吟味して欲しい。	市長	全体の減免割合を縮小だけでなく、対象の整理もするべきということだが、将来への投資と考えれば、一定の負担はしていただくということ。その基準についてはしっかりと対応したい。 建物は傷み、管理の経費がかかる。使用料の徴収、減免によりサービス水準を変えるわけにもいかない。
地方交付税の減り幅は予想よりどのくらい減ったのか？ 今後、国の方針によりさらに減らされることはないのか？ 新型コロナ対策で国の借金も増えているのではないかと思う。	市長	交付税はR7まで165億円で見込んでいる。これは常識的な下限。交付税算定にはルールがあり、おおよその計算はできる。万が一、国の財源が不足するとなれば、国税の増などを検討するのではないかとされる。
	財政課長	地方交付税はR3年度以降は落ち着くと見込んでいるが、変わり次第、財政計画の変更により対応したい。
地方交付税が見込みより下がった理由は？	財政課長	交付税の算定基礎による。合併特例の分が大きい。
	市長	質のいい借金と悪い借金がある。質のいい借金は国が裏保証してくれるもので、合併特例債は75%を交付税措置される。質の悪い借金は、ふたを開けてみると予定の交付税措置がされないものがある。

R5までの政策経費の削減において、水沢病院の整備費はどう位置付けているのか？	市長	水沢病院のほか、水沢中学校の建て替え工事なども組み入れた財政計画となっている。
経常経費の削減により、町内会では払いきれないことも想定される。今日の説明で財政状況から健全化の取組をすることに総論としては賛成であっても、各論部分となると反対ということになり兼ねない。削減だけを示されて夢がない。指定管理を受けると、労務関係の問い合わせなどをしてもすぐに返事をもらえない。市と振興会では違う。法律関係に一定の知識を求められるが、そのような人材を振興会で今後も雇用できるかどうか。色々と面倒なことばかりであれば、今後は指定管理をやめるべきとの声も出てくる。	市長	協働の力で、まちや地域を良くしようという理念。負担を強いているというだけであれば、協働ではない。すぐに返事を出せないというのは、南地区だけがいいとはならず、30地区を一律でのルールとして示さねばならないことから、時間がかかるのもやむを得ないことを理解いただきたい。南地区の総意を持って進める取組は応援できるサポート体制を作り、協働のまちづくりの素地としたい。市民目線で仕事をする職員に変革をしていきたい。
補助金・負担金の整理など市民にとってマイナス要素が多いが、プラス要素はないのか？競馬場の借金を返してもらおうなどの見込みはないのか？	市長	競馬組合については、旧水沢市時代には100億円の配当金があり、現在は83億円の融資。融資を無くし芽を摘むことは簡単だが、将来的に返済される可能性は秘めているので、今は大事に育てていく時期。 プラス要素としては、ふるさと納税で7億円の収入がある。この分野はまだまだチャンスがある。また、福祉、医療、教育は守るべきところ。いずれ昭和の時代の間隔では市はつぶれてしまう。
今回の財政健全化の取組と総合計画の兼ね合いは？ また、総論部分は賛成となろうが、各論部分については関係機関との協議を十分にして欲しい。 民間でできることは民間でということは、進めていただきたい。	市長	行政でできないことを民間でできることは多々ある。 総合計画とはリンクしている。総合計画を実行するための財政健全化であることを理解いただきたい。然るべきまちづくりは進めるので、マイナス要素だけではないことの理解を。

【常盤地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
普通交付税が想像以上に減少した理由は？	行政経営室主幹	合併特例で10年間は旧5市町村のままの算定で、その後段階的に減となるものだった。その削減幅を緩めるとい話が国からあったが、R28以降は想像以上に削減された。
	市長	5つの所帯がある状態で10年。その後の5年間の減り幅は緩和するとのことだったが、3億円と思っていたところが10億円くらい減らされたもの。分かっている当たり前だろうと思うかもしれないが、そうではない。借金の一部を国が負担することから返済時に交付税に上乗せという仕組みであるが、国はその上乗せ分は手当しており、交付税の基礎分が減っているとの説明をする。
この取り組みの検証結果、目標の達成度合いの市民への開示はどの時期にどの方法で行うのか？	行政経営室主幹	開示については具体的には決めていないが、R3年度の決算がまとまるR4年に市ホームページ、広報などにより公表したい。
	市長	5月には財政調整基金の残高がある程度分かる。決算は9月なので項目ごとの効果額となると1年半遅れになる。 平成の大合併の目的はそれぞれの自治体の借金を減らすためという側面もあり、5つの財布を1つにできなかった。10年かかってできなかったことを3年でということ。

<p>市長の任期はあと2年。任期満了だからと投げ出すのではなく、このR8年度までは責任をもってやるつもりで全うして欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>R8年度までの計画ではあるが、R3に切り込むことができれば、一定の成果が見込まれる。役所は予算至上主義で、見込まれる分の歳入と歳出で予算編成する。決算では余ることになるが、当初に80のところを100で組むということはいかない。決算で余った分は財政調整基金に積み上げる。財政健全化のルールを来年度までにきっちりできることがこの計画のカギ。これをやり切ることが、今の任期最終年の来年度までの最大の責務として取り組む。応援して頂く限り頑張りたいという思いもあるが。</p>
<p>数年前にも財政計画を策定したはずだが、その検証結果も出してもらいたい。</p>	<p>市長</p>	<p>後日報告させていただきたい。これまでの行財政改革が進まなかったのは、温泉の譲渡、事務事業の効率化が思うように進まず、全体の5～6割しかできなかったもの。</p>
<p>使用料が安すぎると感じているので、上げることに賛成。市が管理費を負担し過ぎている現状を改善するべきで、大胆にも直すべき。利用者側も頑張らないとならないだろう。</p>	<p>財務部長</p>	<p>前回財政計画はR29.3に策定したが、交付税の見込みに差が出てしまい、歳出縮減もできなかった。前回計画の総括については、改めて説明したい。</p>
<p>使用料が安すぎると感じているので、上げることに賛成。市が管理費を負担し過ぎている現状を改善するべきで、大胆にも直すべき。利用者側も頑張らないとならないだろう。</p>	<p>市長</p>	<p>使用料は適正な形に整理し、利用者負担の理解を求めたい。管理費に税金を投入していることから、施設利用者だけに過大な利益ということにはならないので。</p>
<p>令和3、4年度で効果額を見込んで「市有財産の売却」は、売却するものが決まっているのか？</p>	<p>行政経営室主幹</p>	<p>R4年度の5億円は旧小中学校で売却が見込めそうなところで算定した。売却が決定したのではなく、売却が可能なおとところということで計上したもの。売却は、その年の収入で終わりなので、効果額は単年度限りとなる。</p>
<p>前の計画でも旧東中の売却は入っていたと思うが、今回も入っているとの噂も聞いている。もし売却するにしても地元とは十分な協議をして決めて欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>一方的に売却を決めたから問答無用とはならない。他の部分の応援体制にも影響が出る。地域の人がかこれならいいというものを提示しながら慎重に行いたい。</p>
<p>指標が財政調整基金となっているが、もう少し詳しく説明をして欲しい。この基金がマイナスとなった自治体はあるか？</p>	<p>行政経営室主幹</p>	<p>基金がマイナスとなることはあり得ない。予算が組めなくなるので一方的に事業費をカットしなければならなくなる。</p>
<p>指標が財政調整基金となっているが、もう少し詳しく説明をして欲しい。この基金がマイナスとなった自治体はあるか？</p>	<p>及川副市長</p>	<p>家計で言えば貯金が底をつくもの。そうすれば借入をすることとなる。借入をすれば、市長の任期中はしのげるが、そうではなく借金は増やさず、貯金を増やしていこうというもの。</p>
<p>振興会の仕事をしていると、市長は2、3年前までは財政調整基金は順調に積み増し努力していると説明しながら、地区の要望には金がないからできないと言われ続け、ジレンマになっていた。これを達成することで奥州市のどういう絵が出来上がるのか。説明では黒と灰色が織り交じって、トロピカルな色が見えない。これをやることによって、当面の明るいものを前面に示してもらわないと、沈没する奥州市しかイメージできない。この状況は合併した頃から分かっていたことで、なぜ施策を打ち切れなかったのか。それを3年間でやるとなるとかなりの痛みも伴うので、激変緩和に配慮しながら進めて欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>ビジョンもなく、グレーとグレーで黒とことだが、今が乱雑に色が入り混じっている状態。合併したからにはまとまって、奥州市は一つであるカラーを発信し、大きな力となるための第一歩。この変化をもって、発展する力を蓄える奥州市になると信じている。</p>

<p>公共施設の使用料について、受益者負担はあるべき姿ではあるが、現状では無料で利用している実態から半分は負担となると公共施設という概念も変えていかないとないのでは。地区センターは日中が年寄り、夜は若者、学生の利用が多い。使用料のために利用者数が減となることは問題なので、激変緩和の配慮をお願いしたい。受益者負担については賛成である。</p> <p>プールや青少年ホームなど設置の目的を終えた施設は廃止とあるが、江刺のプールは署名活動での存続要望までされている。この間、当初の目的が変わっているのではないか。目的が終わったのではなく、変わっている施設もあるのである。</p> <p>旧東中の利用は年間3万人を超え、毎年の地区要望のトップにも挙げている。常盤地区の中心にあり、住民12千人にとって利便性と価値あるもの。普通財産のために手が打てないとのことであるが、住民アンケートでももう少し整備されれば江刺などにも行かなくていいとの声がある。市長は乱暴にはしないとの約束をしているが、当面は現状のまま使用させて欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>旧東中は普通財産である限り、売却の俎上に上がり続ける。かといって5億、10億もかけて利用できる場所に整備ともならず苦しい。まずは地元の話をしながらかししたい。売ってしまえば5億円で終わってしまうものである、代替の部分も含めて検討していきたい。</p>
<p>資料の職員数の削減は非正規も含んでいるのか？職員数減が新型コロナ対策の対応遅れが生じている自治体があるとも聞く。職員の人数を減らしていくこともいかなものか。</p>	<p>行政経営室主幹</p>	<p>資料の人数は正職員。非正規もこの間300人くらい減っている。</p>
<p>非正規の労務単価も変わっているのか？</p>	<p>市長</p>	<p>非正規職員についても処遇改善を行っており、そのことで3億円ほどの増となっている。職員数の一定数の維持は必要である。今回は正規職員の働き方改革で時間外を無くし、その削減効果を見込んでいる。職員数を減らす、人件費カットなど過度なものとはなっていない。</p>
<p>どういふ施策による効果額の算定根拠なのか？売却の効果額に旧東中が含まれているのかなどを知ることはできるのか？</p>	<p>行政経営室主幹</p>	<p>本日の資料の全てが決まったわけではなく、これから関係者協議などの詰めを行うことから、現段階として示せるものはないが、例えば使用料の単価など決まり次第、段階的に示していきたい。</p>
<p>この算定がどういふ根拠でというのが見えないので、それを示してもらえるのか。</p>	<p>市長 及川副市長</p>	<p>歳出で例えば、新市立病院の建設、水中、給食センターの建て替えなど、ここ数年で確実に行うことを見込む費用は含んでいる。また、人件費や指定管理料など固定経費などを見通した経費を積み上げると毎年20億円足りない試算となる。3年後以降も約束するためには、まずこの重点項目を着実にやっていく。借金を増やせば、今の歳出規模の水準でもできるが、借金は増やさず、今の体質を改善していくもの。そのことが分かる資料が出せるかどうかは検討させて欲しい。</p> <p>民間であれば、まず不良債権を切り捨て、人件費を削る。民間の場合は限られた顧客だが、行政は市民全員がお客様。公共施設も簡単には切れない。この間できなかったことをやっていたらなければならない。合併したから切り捨てられるのかではなく、例えば人口4千人を割った衣川に温泉2、スキー場1がある。こういった整理できなかったところを整理するもの。</p>

水中の建て替えなど借金をしても学校などの使用目的があるものはしていいと思う。水沢病院も必要なものとなれば同様。借金をしてでも設備投資すべきところにはするべき。	市長	利便性の高いものには投資をしていく。1次借入れをしてから均等に返済していく。一定の投資をしないと街の元気がなくなる。
市債残高がR5までどういう推移で行くのか？これが増えていくのであれば怖い。	財政課長	返済するよりも多くならないように借金は組んでいる。
	及川副市長	効果額が大きいのは事務事業の削減。これを職員が知恵を絞ってやる部分大きい。適正な使い道のある借金はしていく。

【佐倉河地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
縮減・合理化という話は、何年も前から変わっていない。使用料の増より支出を減らすべき。職員の残業が減れば市民サービスが低下する。やることをやっから提案して欲しい。明るい話題がないと若い人がいなくなる。プロのコンサルに頼んで企業誘致するべきだ。	市長	市で歳入を増やすのは限界がある。税が増えればその分交付税が減る。企業誘致については、前沢と江刺が完売し、新たな団地の造成を始める。一人当たりの借金残高は、人口が1万人以上減っている状況でも確実に減っている。一番やらなければならないのは①の事務事業の見直し。ふるさと納税は約7億の収入があったが、15%の手数料を引かれても、85%は市と地元業者に残る。
工業団地に頑張っ誘致して欲しい。働く場が必要。若い夫婦は、子どもが欲しくても、ここでは生活が成り立たないと言っている。そのため、ある程度の負担増は仕方ないと思う。	市長	江刺に10ha整備予定で、R7年度までに造成して企業を入れたい。いい企業がいっぱいあることをPRすることが必要。この地域は、「よく働く」人材として優秀と言われている。情報発信していく。
受益者負担は必要だと思うが、今まで負担していない人への丁寧な説明が必要。	市長	丁寧な説明を行う。
子育て世代や若い世代に奥州市の魅力が発揮されるような取り組みが必要。例えば、奥州市に戻って来て働いたら10万出すとか、婚活パーティに参加したらお金を出すとか。	市長	子どもを持つ若い世代が安心して暮らせるよう知恵を絞っていく。
健全化重点項目では⑤使用料・減免基準の見直しをやらないで、③公共施設の整理合理化をやるべき。今まで、総論賛成・各論反対で進んでこなかった。本庁と30地区でよい。間に5つの支所はいらない。今までのシステムを壊すべき。	市長	支所にかかるコスト等も含め検討したい。
ごみ有料化をすべき。県内では北上市だけが、全国では63%が導入している。	市長	ごみ有料化は、歳入の増だけでごみの減量化にもつながる。他の使用料と違って、ごみの量は自分でコントロールできる。十分に検討しなければならない課題。
人口が減らないようにすべき。働く場が必要。企業が来なくなるような条件のいいところは、農地で開発できない。北側にスーパーがない。立派な環状線があるのに、そのロードサイドに店がない。農業委員会が邪魔しているのか。	市長	胆沢扇状地の農地はすべて農振地域。西環状線で農振を外したのは幅10mくらいのため開発が進められなかった。農政局で許可しない。片方で農地整備のための予算を要望しながら、片方で除外を認めて欲しいということはなかなか難しい。

【若柳地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
重点項目。削減縮小で賄う。一番大きいのは収入の確保。旧小中学校跡地の売却・利活用。ただ売るのではなく、企業誘致につなげてほしい。	市長	場所を選ばず仕事ができる時代が来る。胆沢の旧中学校に高速の情報通信網を整備すれば、注目する方がいるかも。単発的にとらえず考えていく。
ひめかゆ、あまりに安い価格。2025団塊の世代が75歳。老人ホーム足りない。	市長	5頁物の資料を出したが、限られた時間では難しい。15年前に合併し、財布が一つになったが出口は5つバラバラ。交付税の優遇があった。思った以上に高齢介護等がかかった。破綻するわけではない。収入にまかなう支出に変えて行こうというもの。他市と比べ過剰なものを正常にしようというもの。
今日の資料に財務状況の報告がない。純資産を減らす。	市長	資産をもっていれば維持費がかかるのはそのとおり。取り壊しにもお金がかかる。使われる場合は地元への説明が必要。
市税の収入は23%くらいある。納税組合が解散すると納税が減るのでは。個人情報問題があるなら、納税の推進に特化して。決定事項かもしれないが、どう考えるか。	市長	納税組合、いろいろ検討した結果、個人情報、入っていない人との公平性の問題があった。組合がなくなっても、一定の取り組みが必要。今までとおりのきめ細やかな対応ができるかは検討している。
健全化の項目は全部市民におんぶにだっこ。市は自分たちの腹を痛める気がない。夕張の例。職員給与等。市民は納得するか。市長も職員も頑張っているから市民も協力してくれという心意気を見せてほしい。	市長	市長報酬削減5～6年あった。職員数、合併以降減らしてきた。人件費総額減らしてきた。臨時職員、働き方改革で上げる。借金に総額、1万5千人人口が減っても、一人当たりの借金が減っている。就任して給与4.5%削減した。
少子高齢化社会は現実の問題。手をかけてほしい。黒字になってからではなく。先が見えるビジョンを出してほしい。	市長	医療介護計画の仕上げの段階。病院どうする、介護どうする。歳出で全部見ている。財政改革を進めていきたい。
やる気を示して欲しい。数字では表れているが、市民の心が変わるような説明が欲しい。会社なら赤字なら上の者が責任を取るもの。	市長	4年に1回選挙ある。だめなら落ちるだけ。会社は顧客あるが、市長は市民全体。職員が委縮し、やる気がなくなる。その分稼いでもらう。理解してもらうように努力する。
いろいろ資料があるが、実態がわかる人は少ない。10何年も経って違いがあるのがわからない。パフォーマンス。議会は何をしている。なぜ市民の代表で出ている議会で議論しない。詳しい内容がわからないと、だれが一番悪いという話になる。人件費が減っても物件費が増えている。委託料はいくら増えているのか。H31年度は収支不足はいくらあったのか。決算委員会で議論していけばみえるのでは。また3年後に、できなかつたとならないように努力してほしい。もっとやることがあるのでは。ここにきて普通交付税が問題ではないのでは。旧市町村で差があればすぐ改善するように。	市長	令和元年の不足は担当から。市政を任せられている者7門として反省している。30地区回って意見をお伺いしている。（財政課長）元年度はマイナスで17億。繰越等入れると7億のマイナス。30年度はマイナス15億3千万。

【胆沢愛宕地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
p 3令和2年度補助金は毎年10%減らすのか。	行政経営室主幹	5年度に最終的に10%減らすことになる。毎年10%ではない。

効果額が示されているが、本当にできるのか。災害とか。甘いのでは。	行政経営室主幹	災害があれば支出が増えるが、そのための財政調整基金。一定額は見ている。
全部減らされるとやる気がなくなるのでは。	市長	協働のまちづくりへの手当は引き続き行う。地域のやる気を呼び起こすことをさらに行う。削減は、それぞれの事情があるので、丁寧に協議した上で進める。
やる気のあるところには出すということは、やる気がないところには出さない。人材がいらないところへの指導は。	市長	エネルギーが少ないところはある。引き金は地域から。協働まちづくり部で力を尽くす。
まだマイナスが大きいのでは。	行政経営室主幹	すぐに収支均衡は難しいので、今ある基金でしのいで、均衡を目指す。
p2交付税想定以上ということだが、どういう理由か。	市長	今まで旧市町村があったものとしてもらっていた。10年目に減額幅を小さくするといったが、見込み程ではなかった。
	財政課長	10年の段階的縮減は予想していたが、予想以上、トップランナー方式の導入、公債費の減、税収増等のため。
市有財産で旧土地開発公社3年間で60億ほどの効果額。売れる見込みあるのか。	市長	旧公社分は効果額にはみえていない。旧学校用地など。地域との話し合いをしながら。
会計は単式。複式にする予定は。	市長	国の指導で摸索している。市道は資産か。100億で道路をつくれれば資産が100億といいか。売ることにはできない。中学校も。一般企業と違うところ。複式は、28年度決算から作成している。貸借対照表、コスト計算書等、行政に合わせたものを作っている。H pにも載せているが、活用に至っていない。
人口減っている要因。市として誘致企業をあっせんする働きの動きは。	市長	合併時、江刺、前沢、胆沢の空き工業団地は負債と言われた。2年前、江刺、前沢完売。広表交渉中。新たな団地造成10ha準備している。7年度には入れたい。働きたいところとのミスマッチはあるかも。担当課には、高校、中学校、親御さんに情報発信していきたい。コロナでリモートワークが出てきた。通勤地獄から解放された。仕事にはそれほど影響なかった。通信機器の整備。準備はしていきたい。

【真城地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
大きい割合を占めていると思われる人件費について、合併後26%削減とのことだが、適正な職員数を考慮した上で、まだ削減できるのか？	市長	定員管理計画では職員は20人くらいを減らすこととしている。これまでに400人くらい減らしており、人数だけでいえば、同規模の一関市と比べても少なく、少数精鋭で頑張っている。今後は働き方改革の中で仕事量を減らしていく。また、正規職員のほか、非正規職員も同様に減っている。
経費の削減がメインだが、収入増の取組として使用料の見直し以外に市税を上げる予定はあるのか？	市長	収入増の術を考えるのは厄介。ひとつの例としてゴミの有料化を提案された地域があった。奥州市は袋代の実費分のみ料金負担していただいている。ほか、議員からは水沢江刺駅の駐車場の有料化も意見されている。市税を上げる予定はない。国保税は県一律での運用で、現在は県内で一番安い水準となっている。

水沢病院の建て替えや、市役所本庁舎も老朽化している。江刺庁舎の活用などは考えているのか？	市長	病院は医療局としてどういう配置がいいかを検討している段階。建設分の経費は財政計画でみている。 本庁舎は耐震は大丈夫。あと50年くらいは使いたいと思っている。 旧小学校の有効活用など遊休資産の活用をし、そのことによる収入増となる取組も進めたい。
ゴミの有料化は賛成。市民一人当たりのゴミ排出量は減っておらず、リサイクルも増えていない。有料化しないとゴミは減っていかないのではないかな？	市長	前向きな意見として承りたい。
ホームページを見ると29年度からの10年間の財政計画があるが、半分も行かない時期での見直し。色々な障害がある中で財政健全化を進めなければならず、現状をある程度維持しながら取り組まなければならないだろうが、目線を一定程度高くして取り組まないと夕張市のようなことになり兼ねない。土壇場になる前に打つ手は打っていただきたい。	市長	予算以上の執行はできず、余った分は財政調整基金に積むもの。総合計画は5年間で見直しとなるが、その期間において、大きく示した分はしっかりできるような努力をしていく。そのための改革と理解して欲しい。
この財政状況で本当に新市立病院が必要なのかどうか。建設すれば維持していかなければならない。		病院については、今の機能がそのままというのではなく、何かあった際の医療体制を取るためのハード面の整備。医療を受ける前の手伝いなどの機能も有したものとしたい。
数字だけ見ると29.1億円の効果額を生み出さなければならず、不要不急のもの見直しが必要と感じる。	市長	必ず生み出せる内容であり、特にも①、④については、市内部の努力で達成できるもの。
資料の作り方に意見したい。1ページで費用の大きい項目を説明しておきながら、2～4ページの項目と対応していない。本来は支出金額の大きいものをどう対策するかではないか。交付税のグラフもH18～20が抜けている。合併した時の状況がどうだったかは示すべき。このような資料の作り方はあり得ない。	市長	資料の作り方がリンクしない、物差しが違っているとのことで、なるほどと思うご意見。改善するべきところは改善したい。
問題は市役所の構造をどうするか。今の仕事は本庁に集まらないと成り立たない離れていても仕事ができるようにならないとならない。江刺に立派な庁舎があり、面積は足りている。仕事の仕方を変えることで人員不足の解消にも繋がる。読売新聞でICT教育が全国で岩手は45番目とのこと。これが市の力を表している。市幹部が仕事のやり方を変えることを決めるべき。 一般会計だけの説明だが、市の借金は特会にもある。水沢病院は中途半端で、採算を取れるようにするには胆沢病院規模にしないと成らない。総合病院であることは捨てて、人間ドックや在宅医療に特化するなどの機能とするべきではないか。 人口が減るので、市議の人数も半分にするなど取組もするべき。本来は子どもが減れば教育費も減るはず。違うやり方をしないと、市職員が潰れてしまう。予算が余ると言うが、大災害が来たらどうするのか？国の借金も増えており、交付税も見込み以上に減ることは間違いない。今までと違うやり方でスピード感をもってやるべき。		働き方改革としてはテレワークも実証されつつある。市役所でも取り入れられる可能性はあるので、検討を進めていきたい。 ハードよりはソフトという提言と受け止めた。ひとつひとつを対応できるように努力していきたい。
病院の累積赤字はどのくらいか？	市長	病院の借金は全て返済した。

	財務部長	H30での欠損金は15億8千万円。
一般会計からの繰出があるはず。何十億円になっているのではないか？	市長	14～15億円を繰出している。うち3～4割は交付税措置される。
その分も赤字。一般の人が理解できるような説明にしないと誤解を招く。	市長	公立病院の再編案を厚生労働省が示した。15億円を繰入しても赤字。胆沢病院は黒字出しているが、同様に県からの繰入金がある。公立病院は不採算な部分も扱わないとならない。厚労省は統合するべきと言っているが果たしてそれでいいものか。医療もだが、保険の部門の機能も有したものとしていきたい。
春先に医療関係の方から話しを聞いたが、市内は現在の病床数で足りているとのこと。あえて新しい病院が必要なものかどうか。苦労してまでやることなのか。	市長	かなりの税投資が必要で、投資したくらいの効果のあるものとしないとならない。
まちづくりにおいて、最後に行きつくところは人材。市は人材育成にもっと金をつぎ込んでいいのではないか。いい人材がいても他県に流出する。Iターン、Uターンの大切さを教育面で子どもたちに教えることも必要では。ふるさと納税の希望用途として、市長にお任せも多い。どのように使おうとしているのか？	市長	予算の市長査定では削る方のみ。ふるさと納税は善意のあるものなので、歳入の一項目に入っているだけでいいものかということもある。今の意見で、人づくりに市長にお任せ分を使える仕組みも考えるべきかと思った。

【姉妹地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
広報を見ると収入における市税が22%で130億円、交付税が31%で200億円とのことだが、この割合は他自治体と比べてどうなのか？市税の割合が少ない理由とその対策はされているのか？交付税に頼らない自主財源を確保しての赤字解消のため、雇用創出などの新しい取組が必要では。協働のまちづくり、官民一体の取組があってもいいのでは。この計画期間後の5年先では、増税になるような気がする。単年度収支のバランスで言えばアウトの状況。	市長	自主財源の割合は合併前の水沢市で53%で現在の奥州市は約4割。市税の収入増となると、交付税は減る仕組となっており、村レベルでの自主財源は15%くらい。盛岡でも6割くらいしかない。奥州市は借金がまだ多い。将来負担を減らすために、各種取組を行い、借金を減らそうというもの。工業団地は完売し、新しい団地造成に着手する。行政では市有財産を資産計上できないことから、一般企業とは違う会計であることは理解して欲しい。夕張市のようになることはなく、借金は確実に減らしている。力不足だったのは、身の丈に合った歳出にできなかったこと。効率的な財政運営の仕組み構築をしていきたい。
夕張市の例を出されたが、奥州市も合併時には危ないとの噂があった。病院、公社、競馬の借金があり、やっていけないのではないかとのことだった。負債がどの程度償還され、完済する目途が立っているのか？	市長	平成の大合併は、それぞれの自治体の借金体質を改善するためでもあり、さくら大橋の道路など様々な整備は合併したことにより実現できたもの。病院、公社、競馬の3つの問題は全て水沢であり、合併していなければ水沢市は財政再建団体になっていたのではないかと思う。公社の借金のうち、マイアネタウン、工業団地が大きくを占めていたが、今となってはプラス要因となっている。水沢に限らず合併前の5つそれぞれでの自治体で課題を抱えていた。合併は総じて正解であったと確信している。借金が減り、サービス水準を一定程度維持できているのは合併効果そのものである。

<p>中町駐車場、胆沢中、万年の森など訴訟や監査請求の案件が市の支出にも影響を及ぼしているのではないかと。それらの総括はされているのか？新市立病院もこの財政赤字状況でやり切れるのか？</p>		<p>中町の駐車場は駅前の一等地ではあるが、正方形の形状がとれない活用したい用地であった。将来において有効活用をしていただくことを視野に入れ、商工会議所に売却したもので、国交省認定の不動産鑑定士の算定額による金額で売却した。当時の売却額より時価としては現在も下がり続けている。市への損害は与えていない。 万年の森はNTTファシリティーズから20年間で7億円の収入がある。その収入額が下げたことを損失として訴えられたもの。 新市立病院については対応できる範囲でできるように進めていきたい。</p>
<p>奥州市はそこまで悪い状況なのか。一関や北上と比べるとどうなのか？水道料金は盛岡は2ヶ月無料などの取組もしたと聞いたことがある。奥州市には明るい話題がないが。</p>	<p>市長</p>	<p>水道料金は高いというものではない。目を引くような明るい話題がないといえばその通りだが、北上市でも新たな誘致企業の一社頼み感はある。盛岡市も現市長が5期目でこれまでの健全化の努力により今がある。奥州市もここを切り抜けていけば、明るい未来がある。一関市は借金は少ないが市職員はいまだに1,500人くらいを抱えている。一関は過疎指定の恩恵があるが、確実に人口も減っている。</p>
<p>今回の内容は素晴らしい提案と思う。小沢市長の方針は地区計画をきっちりやるというものだったので、一律の削減ではなく、優先すべきものは優先するメリハリも必要ではないか。公共施設の整理は5～6年は凍結でもいいのではないかと。水沢病院は移転となれば規模縮小となりかねない。耐震基準を満たさせ、現在地の建物を活用し金をかけない方法でもいいのではないかと。現状では候補地さえもまとまらない。今の建物を活かし、30年くらい持つものとするのもいいのでは。</p>	<p>市長</p>	<p>これまでの発想の転換ということのご助言としてありがたく承りたい。 公共施設の整理は、廃止とすればあっという間に1億円の削減効果も出るもの。その地域になれば困るとの声があるが、若干の移動距離は出てもよりよい施設になることでの理解を得ていきたい。</p>

【羽田地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
<p>努力は理解できた。減免について、10%増とのことだが、振興会の団体が使用しても料金がかかるようになる。地域づくり拠点なので慎重にしてほしい。使用しない人が増えるのでは。検討願いたい。</p>	<p>市長</p>	<p>一律に減免にはならないと思う。どこで線引きするかは難しいところ。他方、指定管理施設ではあれもこれも減免で収入がないところもある。30地区で大方理解できる線を見つけていく。目的は、人口減少がする中で借金を減らすこと。これまで5つの基準であった支出の基準を一つにしたい。</p>
<p>企業が増えれば税収が増えると思うが、その辺の努力はしているか。工業団地、特産品販売など、設ける努力は。</p>	<p>市長</p>	<p>そのとおり。民間と競合して金儲けには走れない。令和7年に販売開始できるように、江刺の団地の隣に整備する。リーガルの靴がふるさと納税の返礼品になった。積み重ねが大切。市をPRしながら対応していこうと考えている。税収が増えても交付税が減って、収入の総額は変わらない。支出を減らすしかない。改革の第一歩目。</p>
<p>p3特定政策的交付、施設運営交付について、指定管理料も減額になるのか</p>	<p>市長</p>	<p>協働のまちづくりが理念。根幹の部分は大きくは変えられない。十分にみんなで知恵を出しよって。一律ではない。</p>
<p>ごみのポスター、何年も経って古くなり、見直しが必要では。減量化、リサイクルの推進に向けて。</p>		<p>ゴミ処理で行政組合に年8億円払っている。430g/人方針を出している。分類がわからないため増えていることもある。意見を持ち帰って担当に伝える。</p>

市の職員の数を大幅に減らしているが、どの程度まで減らしていくのか。減らしすぎてサービスが低下しても困る。適正な人数は。	市長	類似団体と比較して多い方ではない。広大な面積もある。管理計画ではあと20人減らす。それ以上減らすと支障が出る。臨時職員も減らしている。削減も限界に近づいている。
市職員の平均年収360万円。全国でも100位以内。県内1位。2億でも3億でも減らせば。民間ではない年収。	市長	保険料も含めると360万の倍以上かかっている。時間外で5,000万円効果を生みたい。
	副市長	民間が赤字なら、不採算部門をバツリやる、人員整理をするが、行政はそういかない。一般家庭に例えれば、赤字の場合は、借金するか支出を抑えるかのどちらか。今回は支出を抑える方を選んだ。
市税をアップしてはどうか。	市長	使用料は受益に見合う負担を。ご理解を得ながら。
健全化について、よくわかった。職員の数を減らしている。時間外を減らすとなっているが、職員の数が減っているから時間外が増えているのでは。給与は減らすべきではない。誇りを持てるように。	市長	合併時100の仕事があったとすれば、合併効果で減らしていかなければならない。内容を良くして効率化しながら減らしていかなければならない。一人への荷重を減らす。コロナで在宅勤務、霞が関出勤減っても国は動いている。対応できる仕組みをしっかりと作っていきたい。AI導入も始めている。

【黒石地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
一関、北上、花巻、沿岸はどうなっているか	市長	一関は全市過疎、合併時の借金も少なかった。職員削減が難しい状況が見て取れる。財調がなければ予算が組めないところまでいっていない。北上は、安定しているが、和賀庁舎の建設等、合併時の約束が果たせなかった。県内唯一のごみ有料化等に取り組んでいる。雑種地が多く工業団地整備しやすかった。花巻も農地が多く苦勞している。他市も早晚苦勞することになると思う。公共施設の整理、一定の負担が必要になる。全国的にもその流れ。地域に説明し、納得いただけるように進めていく。
コロナで、財調を使って対策を打っているが、奥州市は。第二波の予想は。	市長	やならなければならないことは財調を崩してもやると表明している。国の交付金で戻ってくる分もある。議会からは目玉がないと言われているが、本当に困っている方にお金が行くようにしている。万が一コロナが発生した場合の対応、準備はしている。足りなければ財調を使ってでも。
10年後、15年後人口動態推計は。収入の減をどう見込んで、対策をどうするのか	市長	わかりやすく言うと、1年で千人減っている。最終的には8万5千人くらいで留まると予測されている。学校をどうするか、施設をどうするかを考えている。収入は減るが、サービスを受ける人も減る。縮小に対応はできるものと考えている。
小学校の合併は考えているのか。	教育長	基本的に、再編の柱として、複式学級をなくす。市内27校中11校が複式。ほとんどが江刺。来月再編検討委員会を開く。将来的には10年後の計画を出す。地域からもっと早くとの声も出ている。田原中は、地元から要望書が出て翌年統合した。最高学年が4年生という学校も出てくる。統合せざるを得ない。
公共施設の再編について、温泉、スキー場について、財政支出している額は。	行政経営室主幹	温泉は約6千万円、スキー用3施設で3,500万円。

	市長	機械買うと年6,000万円出ている感じがする。修繕もあると億を超える。水沢はそのような施設がないが、他地域では抵抗がある。ひめかゆは増資。衣川壮は民間譲渡する。
市有財産の売却について、旧東中跡地を売却すべき。ほとんど使われていない。	市長	常盤地区で質問があったが、なかなか難しいところがあった。特定の人が使うなら、みんなが使えるような施設をという声もある。

【古城地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
説明内容は了解した。市当局に甘さがあったのは歪めないのではないか。大事な税金を、胆沢中学校敷地、給食センターの用地問題など無駄な支出をしている。市民は不信感をいだいている。	市長	真摯に受け止めたい。収入はしっかりいただき、支出は絞り込むことに努めたい。市民が疑問に思ったことはその通りなので、職員のリスク管理、体制づくりをしっかりしたい。市民の信頼を損ねることがないように対応する。
全体的には健全化のためにやるべきことだが、新病院はこれから70億円の借金でと聞いている。この辺でやらないという宣言をしてけじめをつけるべきではないのか？	市長	新たな財政計画では病院は建設することを前提に組んでいる。どういう機能を持たせるかの部分で、健康増進のための医療、介護の充実は必要。建設後の運営が継続可能なものになるようにする。
現在の赤字の事業を大きい順に3つ教えて欲しい。	市長	まずは、上下水道。毎年20億円以上を一般会計から繰り出している。新たな設備投資は別として、本来は使用料の収入で管理費をまかななければならないもの。使用料の値上げについても考えていかなければならない。 次は病院事業で15億円の繰り出し。あとはスキー場、温泉で1億円以上の赤字。修繕があれば更なる支出もある。
病院建設は捨て切れないようだが、金をかけないで市民が医療を受けれるような体制とすればいいのではないか。胆沢病院の機能との連携体制でまかなえるとの見解も聞いている。大ナタを振ってやるべき。	市長	病院が不要ということではないので、効率的なものとしていきたい。これであれば市民も納得するというものを示したい。
財政見通しは絵に描いた餅のように見える。やはりダメでしたとなる前に病院を建設することに危険を感じる。12年くらい前に水沢病院の総務省からの経営診断を受けたが、なぜ存続かの意義が見えないとのことだった。県立病院もあるなか、この広域医療圏で市立の総合病院が必要かということ。胆沢病院の機能も低下している。救急搬送も磐井、中部病院などに回され助かる命も助からないケースもあった。市立病院の建設は諦めて、県立病院の強化を県に申し入れしていくべきではないか。	市長	当時、議長と福祉部長として県要望したことを覚えている。現在も県要望は抜け目なく行っている。コロナの感染症対策は県が行うべきことなのだが、発熱外来は奥州市でやれとのことだった。県は9つの医療圏それぞれの特性に合ったものに対応しなければならない。胆沢病院が他の医療圏から救急受入れをすることもある。 市が市民に検診の受診をお願いしても全員が受けるわけではなく、薬手帳の管理もできていない方も多し。自分の体は自分でコントロールできるようになれば、医療機関で2重の検査を受けることもなくなる。電子カルテにより、どの病院で受診しても全て分かるような医療センターの機能となる県立の体制のサポートができればとも考えている。
	副市長	新市立病院の建設に反対のようだが、地域医療介護計画も近々策定完了する。これまでの100～150億円のような建設費ではなく、かなりダウンサイジングしたものとなる見込み。具体的際は別途協議の場を作り進めていく。

<p>奥州市が新市立病院を作り、抱えていく力はない。市立病院のない北上、一関には新県立病院ができた。だれが不利になっているかという奥州市民である。新市立病院は建てる必要はないし、県と一緒に新たな病院をどうするかを進めるべきではないか。</p> <p>また、医師奨学金制度も視点が違うのではないか。借りる人がいても着任する人がいないことの原因は何なのか。この制度自体が現状になじまないのではないか。</p>	<p>市長</p>	<p>ご意見として承り対応していきたい。病院も県立の力を借りて検討するべきとのことだが、その通りとなれば理想。奨学金も医師研修期間が終わってすぐの着任は現実的ではないとのことから、猶予期間も新たに設けることとした。市医療局の目指すべきところが明確となっていないことが、着任した医師からの疑問を招いている。地域の医療にあったものとなる必要がある。</p>
<p>この説明会は、説明内容について「はい、分かりました」を期待するものなのか？ 総論だけの説明なので、具体のものを示し、相手があるものとなると議論は深まるのではないか。どういう奥州市を目指していくのかというのがないと、温泉、スキー場も欲しい、いらぬ議論にはならない。なぜ苦しくなったのかの原点から説明しないとならない。合併時はサービスは高い方、負担は低い方とのことだったが、前沢は固定資産税の増など負担だけがが増えて、サービス向上はほとんどない。未来像を示した議論として欲しい。</p>		<p>各論部分は担当部署が今後、相手と膝を交えて協議していく。悩ましい部分ではある。</p>
<p>市民サービスの縮小、市民負担の増の説明と捉えた。市民に負担を求めますが、職員人件費はひとり当たりとすると0.6%の削減に過ぎない。6つの項目は市民の大きな痛みを伴うもの。市民だけでなく職員全員が危機感をもつべき。我が身を削ることのできない職員に失望した。職員人件費80億円の10%カットできれば、3年間で20億以上の効果が見込める。民間では顧客サービスの維持は当たり前で、まずは我が身を削ることから考える。</p>	<p>市長 副市長</p>	<p>今年度より、会計年度任用職員の関係で非常勤にもボーナスを支給する国の方針により人件費は3億円の増となった。時間外手当の縮減により人件費を減らすこととしているが、更に踏み込んだものとするかは、提言として承りたい。</p> <p>民間であれば不良債権の整理、人員整理という順番となる。民間は取引先が限られるが、行政は市民全てが相手。人件費は最終的に手をかけることもあるかもしれないが、まずはできるところから整理していくもの。</p>
<p>奥州市の給与水準はどのあたりなのか？ 総務省の調査では、平均が39万円で県の民間平均は23万円というのをみた。自分たちの身を削るべき。</p>	<p>総務企画部長</p>	<p>ラスパイレス指数は98.8で県内では3番目に高い。</p>
<p>職員の給与が高いことはわかっていたこと。この状況でそこに手をつけられない現実は何なのか。</p> <p>何年たってもできない理由は何なのか。最近の胆江新聞は金ケ崎の前向きなニュースが多い。市長ではなく、職員がアイデアを出せない体質となっているのではないか。温泉、スキー場が15年やれなかったことを、この3年でやれる理由、変わったものはあるのか？</p>	<p>市長</p>	<p>定数削減による人件費減はこれまでも行っており、4年間の独自給与カットも行った。職員の頑張りが少ないと言われるのであれば、叱咤激励しながら進めていかなければならない。</p> <p>今後は関係団体に丁寧な説明をしながらとなる。2期目の選挙で300項目の削減を打ち出したが、選挙結果を見て、一概ではなく世論は穏やかでないと感じた。3期目は病院建設を公約としたことから、それは貫かなければならない。</p> <p>金ケ崎のニュースについては、既に奥州市ではやっていて後追的なものを取り上げられているものも多い。プレスリリースの仕方も検討していかなければならない。</p>

<p>この重点項目をやるとなったらよほどの実行力が求められる。3年では無理ではないか。単なる弱者切り捨てになり兼ねない。事業の仕分けをして優先順位を決めてやるなど、市職員が英知を絞って行うような目に見える努力が必要ではないか。市長、市幹部のリーダーシップが足りないのではないかと感じる。職員のいい意見は吸い上げて実行していく体制づくりをするべきでは。医療費の通知が2ヵ月後くらいに来るが、腹が立つ。そういうものを減らせば、節約にもなる。</p>	<p>市長</p>	<p>職員の能力を發揮できていないのは、市長のリーダーシップ不足であり、自覚する部分もある。医療費の通知は保険権者として通知する義務がある仕組である。いくらでも節約できる部分を足元から見直していく必要はあるので、努力していきたい。</p>
<p>歳入確保において、ふるさと納税の実績はどうか？今後の財政計画ではどう見込んでいるのか？また、逆に他市町村に流失している数字はつかんでいるのか？ふるさと納税は力を入れてやるべきで、1,000人もいる市職員が知り合いや企業を回ってやれば、かなり集まるのではないか。地場産品の振興にも繋がる。</p>	<p>総務企画部長</p>	<p>ふるさと納税は平成24年度に650万円からスタートし、平成27年度に3億円を超え、平成30年度に4億円を超えた。昨年度は7億円以上となった。他市町村への流失の部分は把握できていない。</p>
	<p>財政課長</p>	<p>減収分は地方交付税で補てんされる仕組みとなっている。財政計画では今後、6億円の収入として見込んでいる。</p>
	<p>市長</p>	<p>リーガルシューズも新たな返礼品となった。出品者のハードルも下げている。今後も知恵を絞りながら進めていきたい。</p>

【前沢地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
<p>平成18年の財政シュミレーションでは基金残が出るようになっていたはずだが、なぜ残らなかったのか？ここまでの借金返済をしなければ基金はもっと残ったのではないか？</p>	<p>市長</p>	<p>平成18年の際は、歳入を10年間で確保し、歳出も5つを1つにして抑制するシュミレーションをしたが、現実には例えば水沢だけを残して他はなくすということにはできず、ハードルが高かった。もっと言えば議会がそれを認めなかった。選挙時に歳出抑制も公約にしたが、穏やかにせざるを得ない現実であった。平成23年の震災復興の交付金もあり収入も増えたが、その分の支出も増えた。例えば3つあるスキー場の整理もできないなど、歳出抑制は進まなかった。借金返済については、毎年新たな借金はしているが、それ以上の返済をしている。借金総額を減らさなければ将来負担が残る。将来負担比率はできれば100を切り込むことを目指していきたい。</p>
<p>想定以上の支出があった要因は？今後、コロナ対策の分も支出増がある。そういった想定外の部分の対応はどうか？</p>	<p>財政課長</p>	<p>現在650億円の借金残がある。平成24年に借金額が上がったのは、土地開発公社解散に伴う公社債によるもの。現在は半分まで返済しており、令和14年には完済する予定。</p>
	<p>市長</p>	<p>大きかったのは平成23年の東日本大震災の対応。放射能対策のほか、経済対策に係る支出も大きかった。また、介護、医療の拡充など国の新たな施策により、市持ち出し分も大きい。少子高齢化が進み、教育、介護の部分が想定以上の支出となっている。</p>

固定資産税が高いところに若い人が移住するか。放射線の汚染土は金ケ崎は金がないと断り、奥州市は見栄を張って受け入れたと言われている。奥州市には魅力がなく、どんどん衰退していきただけではないか。	市長	広域行政組合は奥州市と金ケ崎は9対1の負担金。その部分も改善していかないとならない。新たな魅力の部分は例えばふるさと納税。返礼品に魅力がないと増えない。宣伝を強化していけば10億円以上も目指せると見込んでいる。このことは奥州市に発展できる要素があるということ。歳入歳出のバランスが保てれば、どのような想定外にも対応できる。奥州市は交通の便もよく、環境もよい。魅力は十分にある。
そこをどうやっていくのが見えない。いいものがあるだけでなく、市は何をやろうとしているのか？	市長	やれることはたくさんある。都市プロモーションは強化していかないとならないが、まずは歳入歳出のバランス確保。足元を固めなければならない。
投資はしていないとならない。正法寺や遊学館など素材はあるので、どうしていくのかということ。	市長	金がなくなってきたから助けて欲しいと言うつもりではない。おっしゃる部分は理解できるので、将来を考えて提案できるようにしていきたい。
普通交付税の想定以上の減の理由が分からない。その部分は今後解決できるものなのか？	財政課長	収入において、市税が2割、交付税が3割を占めている。合併10年間は特別措置がされ、その後段階的に縮減されるものだった。縮減は穏やかにするという国の方針であったが、縮減率は想定以上のものだった。その部分の読み違いがあった。
新市立病院の構想はどうなっているのか？	市長	新たな財政計画には組み入れている。国は在宅医療にも対応できる体制を示す一方、公立病院のスリム化を求めている。老人世帯がどこにも入れない、そこに対応できる体制が求められてくる。水沢病院の建て替えありきではなく、医療局の再編とした地域医療介護計画もできつつある。新市立病院の規模は当初より縮小し、開業医との連携体制、検診の受けやすさ、介護と医療の垣根を低くして、市立病院として担うべき役割を具現化できるところからしていく。

【白山地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
元の白山小学校の跡地の利活用は。	千田部長	H30に校舎解体し、その後は地区で利用。今後の計画はない。
	市長	よほどいい話があればだが、直ぐに不動産会社に売って宅地開発するなどの考えはない。通った方の愛着もある。
現状維持という考えでよいか。 民間に売るために更地にし、桜の木も切ったという話もある。	市長	何とかして処分しなければならない優先順位は低い。他に後始末しなければならない場所が多い。活用を先に考える。いい話があれば白山地区の皆さんに相談し、ご理解をいただいたうえで進める。
小学校跡地、慎重にしてほしい。桜の木がなくなったのは想定外。細やかな分をないがしろにしてほしくない。	市長	桜の木まで切れとは指示していない。配慮が欠けていた。気を使って対応すよう担当に徹底する。
扶助費と物件費の増加に歯止めをかけることが大事。具体的にどうしているか。	行政経営室主幹	物件費を抑えるには公共施設の整理がもっとも重要。扶助費は、消費増税により、伸びている分。子ども子育てにはしっかり対処して行きたい。

年度末の駆け込みで予算を使うとかやめてほしい。	市長	補助金が入る工事で工期に縛られている部分がある。工事の平準化に気を付ける。今は大分厳しくなって、年度末に使い切りはなくなった。
5～6年前にあった300項目の取組みの進捗はどうなった。	市長	2期目の公約だった。全体の半分は進んだが、半分は進まなかった。特に、温泉、スキー場が進まなかった。今年度中に方向性出す。民間移譲により一般財源の持ち出しが減る。同一目的で市内に複数ある施設の統合も進まなかった。事務内容はすすんだが、財政に寄与するもの、市民生活に直結するものが進まなかった。
5～6年前、前沢全体への補助金40万円カットするから集まると言われ、理由を聞いた後その後来なくなった。一貫性がない。経過の説明がない。本気で進めるのであれば、何度でも丁寧に説明するべき。	市長	上下下達的なやり方はやらない。丁寧に対応していく。今回は方向性を示しに来た。使用料等などは、再度当事者に説明する。時間をかけて丁寧に行く。不足した部分は見直す。
予算の長期的な展望ないのでは。健康寿命が延びている事例が全国である。社会保障費を減らす取組みが必要。何を最優先すべきか。	市長	病気になる前に係るコストと病気になってから係るコストは全然違う。検診に連携ができるような拠点となる病院を整備する。
財政健全化のアイデア賞を検討しては。	市長	みんなで認めてあげる。職員がやる気をもって取り組めるような環境を作っていく。
使用料、減免について半額は使用者が負担となっているが、学校の行事、指定管理者は減免だが、その他は有料と聞いている。子ども会、スポ少もかかると聞いている。地域活性化、こどもの健全育成が後退する。今までどおり減免を継続してほしい	市長	方向性は示したが、いろいろ意見も出ている。協働のまちづくりが後退する、地区センターが疲弊するなどないように。

【生母地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
R5に基金が枯渇。なぜ今説明会。	市長	6年前の選挙の際、300項目の改革プランを掲げたが、特に、温泉、スキー場を民間移譲できなかった。大きな反発があった。交付税の減額の見込みが違った。
そのような状況で、水沢病院の建て替えをなぜ行うのか。中止すべき。	市長	1病院の建替えだけでなく、医療局の再編もセットで厚労省から命題をいただいている。医療と介護、病診連携なども含めて計画を策定している。
少子人口減で収入減は想定できたはず。対応してこなかったのか。	市長	合併時67万6千円あった一人当たりの借金を、人口が減少している中で10万円程減らしている。新たな工業団地の造成も行う。毎年入ってくるお金に見合うサービスを行う。
胆沢ダムや競馬の借金はどうなった。説明がない。	財務部長	競馬組合への融資残高は82億。県から57億借りており、28億円残っている。
	財政課長	水道の未稼働資産分、R2～23で15億円返済。旧会社の三セク債、毎年4.3億償還で、残34億円。R14までに返済する。
少子高齢化の原因は自分たち高齢者に責任があるように思われる。生母の高齢化率は42%だが、逆に元気。	市長	子どもがなかなか生まれず、都会に行った人が帰ってこないことが問題。高齢者が多いことが悪いわけではない。

このあと具体的に、職員への具体的な指示や市民への説明を市長はどのように考えているのか。	市長	市長の指針を職員に示す必要がある。協働のまちづくりに影を差すようなことはするなど言っている。市民理解が大きなポイント。
福祉、保健、病院の強い思いを聞けたが、本当にできるのか。奥州市がやるべき部分と連携する部分が大切では。	市長	独居老人、老々介護、在宅介護、検診等への対応の拠点づくりが必要であり、第一歩にしていきたい。
合併の総括がない。合併してよかったと思う評価が必要。	市長	合併の総括は担当総動員して行っ。客観的な物差しで。
市の方々と関わることがあるが、主任、係長クラスの職員が、前向き、一生懸命対応してくれている。	市長	補佐級職員にまちづくりの研修を行った。金がないではなく、地域の知恵を膨らませるように話した。

【衣川地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
セミナーハウスと衣川駐在所の屋根のトタンが錆びている。特に駐在所は雨漏りしそう。次に心配なのは衣川診療所。あのまま放置したら塗装だけでは済まなくなる。財政健全化のためにできないのか？	市長	駐在所は県管轄なので伝達する。セミナーハウスについては強く認めている。長く使う予定の施設なので、できるだけ早期に対応したい。順番から行くと衣川は国見平温泉の屋根修繕を先に行った経過がある。 大事にしなければならぬのは市民が元気になるためのものは減らさない。5つがバラバラだったルールを統一する。支所長とやり取りしていただき、セミナーハウスは早めに対応できるようにしたい。公共施設の長寿命化については、必要な施設は修繕しながら長く使っていく。
今回の取組で市議会の運営費、定数、報酬には何故触れていないのか？国会でも居眠りをしていて報酬7000万円なのに、人数は減っていない。県、市議の人数も多い。公共施設の整理などの行き当たりばったりだけでは甘いのではないか。	市長	市議、市長は選挙で選ばれている。議会は別執行機関であり、私から人数が多いなど言うことはできない。他地区でも同意見があったので、こういう意見が出たことは議会に伝える。議会が自ら報酬や定数を検討するもの。こちらで減らせとは提案できない。国は議院内閣制なので地方とは仕組みが違う。市議も地区での懇談会を行っているので、直接声を届けてもらいたい。
	及川副市長	市議の報酬は低いのに仕事は多い。市議へのなり手がいないことも課題。
ふるさと納税はどのくらいあるのか？	市長	昨年度は7億円。返礼品にリーガルシューズが加わった。米、南部鉄器、牛肉が返礼品のトップ3。当初は3億円を維持していければと見込んでいたが7億円まで来たので、10億円を目指したい。
使用料の見直しで1億円の増とのことだが、もう少し他に収入を増やす仕組みを考えた方がいいのではないか。工場の増築を市がストップさせたということも聞いている。 市当局の認識に疑問を感じる。この状況で副市長が2人必要なのか？自分たちも節約する姿勢を見せて欲しい。そういった視点での行政運営が必要ではないか。	市長	工場拡張については、具体的内容が分からないので、後日、支所長に詳しく言って欲しい。職員が行動するというのはその通りで、行政の仕事をするのは当たり前にする。財政状況を説明しながら、検討し、実行していく。

前の小野寺衣川村長の考えは、金がなくなった時にどうするかは村の執行者の役割で、スクラップビルドは当たり前で、委託費を削り、職員が自ら行わなければならない忙しかった。住民は税金を納めているので、要望するのは当たり前。		
市民憲章の理念と財政健全化の整合性をどう図っていくのか？ R8に収支均衡の計画だが、これが適わなかった時の次の策はどう考えているのか？	市長	ふるさと愛、学び、健康が市民憲章の理念。この意識を集約して取り組んでいこうというもの。計画が未達成の場合は、借金の増などによる対応を検討していかなければならなくなる。
この市民憲章の内容で財政健全化をどう具現化するのか？	市長	みんなで力を合わせて協働の理念でというもの。小中学校、医療、介護についてはしっかり対応していく。そのために財政健全化をしっかりやっていく。
ひとりあたり59万円の借金とのことだが、市債の総額はいくらなのか？一関市との違いは？	市長	臨財債は含まれていない。交付税措置の国の確認はしている。
	財政課長	辺地債は8割、過疎債は7割の交付税措置。
有利な負債を獲得するのも市職員の努力ではないか。	市長	一関市は全域が過疎指定。しかし人口は減っている。交付税措置される有利なものを見つけて計画している。
市有財産の売却について、昨年度も同提案をしたが、道路残地については隣接者が使っている。売却する際の具体ルールを決めて欲しい。衣川の医師住宅は何年も空家状態なので、人口減少対策も兼ねて売却を進めて欲しい。	市長	道路残地については、管理費はかかっているの、無償で譲渡する方が効果的という考え方もある。医師住宅もより有効的になるように検討し、結果が出せるようにしたい。
企業誘致での税収アップなど明るい話題もあった方がいいのではないか。明るい未来を築けるように、市民と職員が一丸となって取り組めるようにして欲しい。	市長	心強いご意見。できるようにしていきたい。

【衣里地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
<p>合併して15年で財政危機となることは残念に思う。15年前は旧市町村の交付税を10年間は下回らない、合併特例債が活用できるとのこと、合併しないよりはいい、しなければ生き延びれないとのことだった。交付税の算定の仕方がどう変わったのかを教えてください。最終的に交付税が165億円となることは当初より想定したラインなのか？</p> <p>合併特例債は非常に有利で大いに活用したはずで、公債費の高い推移は合併特例債を利用しすぎたからなのか？公社債の関係もあるのか？</p> <p>合併しなければ大変とのことだったが、合併しなかった平泉町や野田村、田野畑村も元気にやっている。誘導だけに使われていたのかと感じる。</p>	市長	<p>合併時が5市町村の持ち寄った借金残高のピーク。人口減少においても借金総額は確実に減らしている。合併特例債も活用したが、それ以上に借金を返済している。合併により奥州市の財政は確実に良くなっている。合併して負担は低い方、サービスは高い方ということで進めてきた。この地区センターも合併したことにより建築できた。これまでは嵩上げの交付税により財政調整基金も積み上げてきたが、歳出のルールをひとつにできず、施設も多く持ち過ぎたままであることが、今の状況に繋がっている。単年度の収支バランスを保つことが必要である。</p> <p>合併特例債も200億円以上の枠がまだあり、使おうと思えば使えるが、借金総額は増やさず、発展できる奥州市のために歳出の構造を変えていくもの。更なる借金をすれば、これまで通りの歳出規模で予算は組めるが、それは破綻への第一歩を踏むことになる。借金は確実に減らしていく。</p>

	行政経営室主幹	小泉政権時は三位一体改革で交付税は減とされていたが、H21の政権交代で交付税は回復した。最終的なラインはH29くらいのラインと見込んでいたが、思ったより交付税は来なかった。公債費の凸凹は繰上償還の関係もある。
	財政課長	普通建設事業の増加要因は、前中、胆沢中の建設、水沢南中の改築の要因もある。
	市長	交付税もトップランナー方式とされた。これまでは一律交付だったものが、できる自治体に交付する仕組みとなっている。交付税は6割を占めており、企業誘致などでの自主財源確保も必要だが、いかに歳出抑制をできるかである。
合併時の旧5市町村のそれぞれから持ち込んだ市債残高はどのくらいだったのか？	財政課長	今日は資料を持ち合わせていないので、後ほどお示したい。
	市長	衣川村ではひとりあたり50万円も借金はなかったとの理屈も成り立つが、投資した分の収支と考えると一概には言えない。
収入減の確保をしないと目に見えて先細りとなることが想定される。工業団地は旧江刺市が整備したもの。地元の取引先が少ない。工業団地への誘致活動をする前に、地元の受け入れ態勢の整備もするべきではないか。農業従事は年寄りだけで、若い世代は採算が取れる仕事を選ぶ。不便な地域になればなるほど拍車がかかる。競争力の強い産物を地域に根付かせる施策を行い、実のある市政運営をしていただきたい。不便なところに工業団地を造成しても、いい企業は来ない。市民憲章のいきいきと働くことができるまちにはなっていない。市民の収入を豊かにしないと、市の財政もよくなる。	市長	減らすことを考えるのではなく、更に分かりやすく前に進む施策をしていきたい。
いくら企業誘致していても、税金は本社所在地に持って行かれる。奥州市に従業員が住まないと住民税も入らない。衣川でも保育園がないからと平泉、前沢に家を建てる方もいる。 公社、水沢病院、競馬の負債問題があった。公社は一定の解決をしたようだが、今後、病院、競馬にかかる金額と比べたら、この財政健全化の取組効果額は微々たるものではないか。どう考えているのか？	市長	競馬組合は構成自治体からの借金で運営している。組合が破綻すれば、80億円の貸付は奥州市が負担することとなり、それ以外にも水沢競馬場の跡地の始末も求められる。赤字即廃止のルールを作ってから、わずかではあるが黒字運営を継続している。ネット投票が増えており、ファンの拡大はされているので、先行きは悪くない。奥州市としてはまずは県から借りた借金を速やかに返済する。 水沢病院の負債は完済している。医療局は単年度赤字であり、市からの一定の繰入金も出している。今後は、医療のほか介護の渡りとの連携、交通弱者への医療、そのための医療体制がどうあるべきかの第一歩となる計画を現在策定している。老朽化した水沢病院の単純な建替とは考えていない。

<p>昨年10月の市広報で公共施設の一人当たりの面積が他市町村に比べて多いとのことだった。アンケートが入っていたが、どのくらいの回収率であったのか？公共施設の整理は、具体的には衣川ではどの部分が対象となるのか？</p>	市長	<p>市民一人当たりの公共施設の面積が大きいのは、合併時より整理されていないのでその通り。地域の広さもあるが、適正であるとは思っていない。</p> <p>整理する具体の施設については、およそのプランはできているので、関係者等と相談しながら進めていきたい。衣川では衣川荘は民間活力での運営を選択した。今の時代に合った形としていかなければならず、宿泊施設の行政での運営は動きも悪くなる。スキー場には7千万円の持ち出しがあり、温泉も水がないなど、維持が難しいところに投資するよりは、医療、介護への投資に回すことになる。確実なところでは地区センターは残る。文化会館が4つ必要であるか、Zホールの機能はいいが料金は高いなどもあり、その辺の集約は進めていきたい。</p>
	行政経営室主幹	アンケートの回収は777件であった。
<p>R8まで我慢をしたとのことであったが、それ以降はどういう明るい未来が待っているのか、その部分を付け加えていただくといいのではないかと？</p>	市長	<p>収支均衡となれば、大切な部分への思い切った投資も可能となる。積極的なサービス展開をしていきたい。我慢するというよりは、いかに効率化、スマート化する仕組みを構築したいというもの。</p>
<p>衣川地域では若い世代がどう夢を持って生活できるのかを検討している。振興会としての仕掛けも考えている。我々の世代には、若い人の将来を考えて引き継ぐことの責任もある。</p>	市長	<p>効果を出せるためには協働のまちづくり。若い人の発想にはしっかりサポートできる体制としていきたい。振興会からの提案をいただければしっかりと対応していく。</p>

【北股地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
減額はやむを得ないのは理解するが、将来、子育てをカバーするために、許される範囲で一定の借金は必要では。	市長	<p>借金の話について、総額は毎年減っている。人口が減っているが一人当たりの額も減っている。毎年20～30億減らしている。今後も、人口が減る以上に借金を減らす。交付税の合併特例がなくなる。収支均衡することにより、基金に積めるようにする。望外な支出の切り詰め、負担をお願いするものではない。</p>
老人の保険費、医療費をどう減らすか。健康維持が大事。	市長	<p>元気な高齢者がたくさんいることは悪いことではない。知恵袋が多いこと。70～80歳で施設に入るようだと家族も困る。介護と医療の計画を立案中。子どもと教育にける金はケチらない。</p>
政策経費は市長の腕次第。減れば市長がやる事がなくなる。辺地、過疎などを勉強して活用するべき。	市長	<p>政策経費を生み出すために経常経費をコントロールしなければならない。まずは、経常経費の削減しなければならない。</p>
職員の時間外を減らすとやる気がなくなる。	市長	<p>働き方改革もあり、余暇で充実した時間を過ごすことも大事。やる気がなくなることがないよう取り組む。</p>
県下14市を見て、奥州市は岩手の人口の一割いる。市長の積極的な面に期待している。借金を恐れずにバンバンやってほしい。	市長	<p>借金の総額は減らすがいけないわけではない。将来も使う施設などには思い切って使う。合併特例債あと200億ある。ただし、入ってくるお金との均衡はとる。</p>

公共施設の整理で、衣川荘の方向は。	市長	観光施設として、市営ではできないことが多い。有効に利用して、雇用にも貢献するためには民間の力が必要。5社手が上がった。大学の先生や税理士等をお願いして優先交渉者を決定する。地区の行事を開く際に市が料金面でお手伝いできることがあれば考える。
バスについて、補助金でタクシーバスを運行している。5年間をめどに変更と聞いているが、通院の場合患者輸送車が定着している。	市長	乗車状況は調べている。タクシーバスと患者輸送バスはほぼ同じルートを走っているの、一つにできないか検討している。利用が少ないから無くすことはしないよう指示している。今度も説明会を開く。
家庭でも、収入より支出が上回ると家計が破綻する。合併していない金ケ崎の財政状況は。	市長	無理して負担を求めることはしない。節約するものはして、丁寧に説明する。
合併していない金ケ崎、平泉の財政状況は。	市長	ここ15年で、金ケ崎も平泉も学校を建てたという話を聞かない。細かいサービスはわからないが、大きい投資は難しいのでは。特に平泉は厳しいのでは。平泉は世界遺産、金ケ崎は工業団地があるので合併しなかった。
補助金・負担金の削減はやむを得ないが、充実するものも必要では。中山間は市の負担は25%。県立大の学生が農作業を手伝いながら地域課題の解に取り組んでいる。財源は中山間の交付金。面積割以外でも、M A X 200万円の加算がある。こういうものは拡大して欲しい。	市長	選択と集中が重要。検討する。

【南股地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
公債費について、病院、競馬場、土地開発公社の借金100億円以上、返すぎたのではないかと。公債費比率等を示すべき。	市長	返済にかかる財調への影響はまったくない。計画どおり返済している。水病は返済している。公社は住宅販売が順調。減債基金に積んで繰上げ償還。競馬は年2億くらい返済しているが、19年に借りて計画的に返済している。意図的に隠したわけではない。
	財政課長	実質公債費比率は16.2%。一関市は全体過疎のため低い。
人件費、衣川村時代も、合併してからも減額された。苦しいなら一般職職員の給与、ボーナスの削減を示さない理由は。	市長	人件費総額は確実に減っている。ただし、働き方改革により、正職員以外にも手当を出すため増額になった部分はある。過去には4年3か月削減した。
	財政課長	人件費比率12.2%、一関は17%。
公共施設について、民間がない衣川では、地域活性化のために、少々の赤字であってもやっていた。廃止に反対。	市長	お考えとして受けめる。
税収の見込みは。	財政課長	税収は、財政計画上は横ばいか微減で試算している。
財政が大変なのは20年も30年前もいつも言っている。政策経費は投資的経費か。	市長	政策経費が少ないと、独自の施策、市長の色を出しづらい

扶助費が合併時から倍になっている理由は。	行政経営室主幹	消費税、地方消費税の増税を受けて、特に子ども子育て支援制度、障がい者関係の支出が増えている。
財政の弾力性は義務的経費でわかるが、県の平均と奥州市の状況は。	財政課長	経常収支比率は97.0%、県平均91.3%。義務的経費比率は46.7%、県平均は34.5%。
合併特例債は半分残す計画だったはず。江刺は過疎。どのような推移で今どうなっている。	財政課長	借入可能額は540億。借入累計300億、残り240億。
水沢病院の建替え財源は。	市長	病院特例債を利用する。場所、規模が決まっていない。財政計画上の100億が決まったわけではない。今年度中にプラン。
人件費、高い安い関係なく、市民に負担を強いるなら身を切るべき。	市長	様々考えなければならないが、残業が固定給の一環になっているような意識があれば直さなければならない。
人口減少しないような、増するような取り組みが必要。職員の知恵、市民の知恵を合わせて。人口が減れば税収に響く。現在の奥州市の人口減少対策は。いい企業を誘致するよう頑張る欲しい。	市長	減らさないこと、現状維持、わずかでも増やすこと。今、力を入れているのは、働く場所をつくること、教育環境の充実。
	政策企画課長	H27の人口ビジョン推計を食い止めるため、まち・ひと・しごと総合戦略で取り組んでいる。
国の動向に鈍感。交付税がピークから減っている時期、国は、地方は貯金があるから交付税を減らすと言っていた。ゼロ金利なので、積極的に貯金を使って繰上げ償還すべき。	市長	国は、交付税を減らす方法としてトップランナー方式を導入した。

【岩谷堂地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
この財政状況の中、副市長を2名にした理由は？これはいつまで続くのか。	市長	今回の取組では職員人件費の時間外手当の削減を項目として出しているが、職員がしっかりやれる体制を構築するため、新田副市長に就任していただいた。まちは人によって作られる。市職員がいい方向に意識改革をするために就任してもらった。終期というのは今のところ考えていない。
江刺の診療所の見通しは？	市長	患者輸送車を週3回回した方が安く上がるということもある。
	新田副市長	江刺の診療所は国保事業で市の直轄。廃止に向けた検討はしておらず、現在策定中の地域医療介護計画にも含まれていない。
公共施設の統合について。民間移譲の対象施設はどの程度あるのか？	市長	スキー場は3つやれば年間7千万円の維持費がかかる。この部分の整理統合ができれば、効果額の額面的には2/3の目標達成とはなる。温泉施設は民間でもできる部分。北上には立派な夏油スキー場もある。民間でできるものは民間でという方針。ほかに青少年ホームの廃止などはあるが、額面的に大きく貢献するものでもない。
	行政経営室主幹	行政経営改革プランでは、民間移譲が15施設、廃止が5施設としている。

江刺の工業団地は、かつて固定資産税を免除していたはずだが、現在はどうかになっているのか？	高野総合支所長	江刺時代から免除を行っており、立地後3年間までとしていた。企業が増えることで、総合的な税収は明らかに増えるもの。
	市長	設備投資への補助もあり、単独ではない。袖山地区に新たに10haの造成の準備をしている。誘致できれば地元雇用の期待もできる。
行政区長は、昨年度までは市の特別職。今はどういう立場なのか？広報と一緒に入ってくる資料が煩雑。6月23日に協働のまちづくりの市職員向けの講義を市長がおこなったようだが、職場での啓蒙はどういう時期にどのように行うのか？	市長	行政区長への配布内容は、規律を守りながら内容を検討していく。協働まちづくり推進員へは市民に目を向けて真剣に考えるようにと話している。部下がいる立場の補佐級なので、職場内での状況理解をしていただき、広く市民の目線に沿うような頼りとなる市役所、市職員となることを目指したい。
	総務企画部長	4月から会計年度任用職員制度となり、行政区長は非常勤職別職から市への協力職的なものとして設置規則を制定した。規則には職員同様の守秘義務などを規定している。
職員人件費の時間外手当の削減は、部下職員が下がるものなので、例えば管理職手当を下げるなどの検討はしたのか？補助金削減などで市民への負担を求めるもの。議員報酬の減も含めて、市民負担の増を示すべきではないか。	市長	時間外手当については、必要な残業代は出すもの。過度な残業はせず、業務の効率化を図る趣旨である。市民の理解と協力がないと、まちづくりは進まないで、しっかり考えないとならない。

【江刺愛宕地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
公共施設の整理、市有財産の整理が今後うまくいかず、財調の積み上げが計画通りに行かない場合の対応策は？例えば固定資産税の増などは考えているのか？	市長	後年度の負担を残さないように借金は減らしていく。歳出抑制で健全経営を目指す。普通建設事業を減らせないと、借金せざるを得なくなる。投資事業は一定程度先送りしなければならない。収支バランスが取れるようにしないとならず、災害対応のための積立は必須。増税については、考えていない。使用料は光熱水費などは一定の負担は求めたいが、振興会の役員からまで料金を取ることは考えていない。協働のまちづくりの分は減らすことが無いように考えたい。
今後の人口減少対策はどうしていくのか？	政策企画課長	人口は2040年には8万6千人になると推計。まち人仕事再生ビジョンでは、企業誘致での雇用確保、子育て支援の充実、奥州ファンの拡大、地域愛の醸成、安心安全なまちづくりを掲げている。
半年前に矢巾から移住し、自営業を営んでいる。奥州市には他にはないものがありいい街だと思う。しかし、市民や市役所がマイナス思考な方が多い。市役所は何か相談に行っても財政が厳しいのばかり。今日の説明も数字の話ばかりで、それは経理部門で考えて欲しい。市長には新しい将来のために何をしたいのかを話してほしい。奥州市のコンセプトを聞きたい。財政の厳しい自治体は子育て部門から切り詰めていく。それが住みづらい街に繋がり、若い人は定住しなくなる。	市長	住んでいると当たり前感じてしまう。ふるさと納税は7億円まで行ったが、アピールはまだ足りず、今後の最大の課題。合併時はサービスは高い方、負担は低い方を掲げ、交付税の特例で対応してきたが、それも限界に来ている。子育てがしづらい部分は一概には言いづらいが、例えば出産後の保健師のサポートなどは先進的な取組である。待機児童の対応も努力している。医療費負担は他市に劣る部分もあるが、手を抜いているわけではない。未来に向けてのモチベーションを市長が示すべきというのはその通りで、そのための財政の構造を変えるというもの。
街をどうしたいという話が一切なかったが。	市長	それに応えられるものでないと発展もしない。その力になるもの。国にねだっていれば来る時代ではなくなるので。力を蓄えるための取組であることを理解いただきたい。

お金がないだけで誰が協力しようとなるのか？市民は税金を納めており、必要なお金は払っている。暗い話ばかりではないか。	市長	真に必要な力をつけるため、本日は財政健全化の説明をしたもの。
この説明は議会に対してすべきと思うが、議会としてはどう捉えているのか？	市長	議会に対しても方向性は説明している。その詳細を説明した際の注文は出てくるだろう。ひとつひとつ丁寧な説明をしていきたい。
3年間で①の項目で29億円。②～⑥で6億円であるが、この内容でいいものか？	市長	5市町村がひとつになって、効率化する部分が手ぬるかった。そのための①の取組が大きな課題であり、市職員の見せ場でもある。
合併して本庁舎は江刺になるものと思っていた。あるものを有効活用したほうがいいのではないか？	市長	江刺庁舎には協働まちづくり部、教育委員会事務局、上下水道部、都市整備部の執務室があり、江刺庁舎の全フロアを使っている。結果として、本庁機能の一部は江刺となっている。
交付税の減少理由は？この減りを想定した予算も組めたのではないか？	行政経営室主幹	190億円のラインを想定していたが、交付税の算定ルールは総務省で毎年決めるもの。今年の方もまだ分からない状況。蓋をあけてみないと分からないというのが現状。
	市長	国が決める部分が明らかではない。来年も170億円というのがあらかじめ分かれば問題ないが。年明けには特別交付税があるが、それもはっきり分からない。
令和2～5年度の収支差額もこんなものでいいのか？同様に分からないのではないか？	行政経営室主幹	これまで通りの歳入歳出で試算するとこのような差額が生じるもの。取組により令和8年度からはプラスに転じるようにしていきたい。
支出減らすのはその通りだが、選択と集中により、これは減らせないという部分は？協働のまちづくりは減らさないとのことだが、子どもたちの教育費も減らさないで欲しい。協働のまちづくり交付金は減らさないのだろうか？	市長	支出経費は一律ではなく、地域の特性を活かした取り組みには支援をしていく。協働のまちづくりへの支援は総合的には減らさない方向。
工業団地の造成となれば税収は増えるだろうが、税収を増やす作戦はあるのか？	市長	工業団地は令和8年の創業開始時には、何社かが入っている状態で迎えられるよう誘致活動をしていきたい。 ふるさと納税は10億円を目指していきたい。奥州市をPRしていく。税収が増えると交付税が減る仕組みもある。自由に使える収入を増やしていきたい。
2月に都市計画の変更説明会があった。市がこうしたいではなく、地区住民を集めて一緒にこうしたいというのを話し合うものだと思っていたが、それはないとのこと。住む人が想像する仕掛けが必要ではないか。	市長	農振は農水省、道路は国交省との関連もあり、国から金をもらうための都市計画という側面もある。この愛宕地区は農振地区の網掛けがあり、農業基盤整備をすると簡単には農振除外できない現実がある。いずれ国に働き掛けていきたい。
水沢で自営業をしているが、補助金負担金の整理が気になる。水沢に来て10年になるが、住み続けたい街になって欲しい。そのためには生産年齢人口の増が必要。補助金が削減されるとやってみたい仕事があっても支援がないという状況にもなる。投資もしないで発展はなく、本日の説明内容は寂しく感じた。まちづくりは支援することだが、補助金削減のなかで果たして支援となるのかと思った。	市長	補助金については選択と集中の中で、発展を促す部分は拡充していく。一律で根こそぎ削減ということではない。頑張ろうとしている思いを失わせるようなことはしない。協働はお互いのことを理解することで成り立つ。その理念を貫きながら、賢くお金を使える仕組みを本日は提案させていただいたということを理解いただければ。

質問・意見	市発言者	回答・説明
収入の部分でどう税収を上げていくか。何が横ばいで、落ちてきているのか。	財政課長	税収は、ここ数年増傾向にあった。税収が増えたことが交付税減の要因にもなっている。今後は人口減や地価下落がマイナス要因。全体では微減を見込んでいる。
	市長	工業団地など、税収を増やす取組はやっている。
今後のインフラ整備が見えてこない。どう考えているか。	市長	特に合併10年間は多い時で90億程度の投資をした。最近40億程度。類似団体は30～50億くらい。長寿命化が必要。合併市のため直さなければならぬ施設が多い。今までのようにはいなくなりそう。農家には兼業が多いが、建設業界も仕事がないと業界がしぼむ。江刺は学校再編があれば手当する。
農業で江刺10地区を歩いているが、農地の荒廃が急激に進んでいる。農業振興策は。	市長	奥州市は圃場整備率が低いため力を入れている。農協等と知恵を出し合って考えていく。高収益の作目への転換、拡充を考えていく。一方、農振があるために土地の高度利用が制限されている。
地方交付税の急激な変化は予測できなかったのか。急激な変化には市民の急激な負担を求めることになるのでは。	市長	特に、福祉介護で合併当時考えていなかった支出が増えている。合併時の「サービスは高い方、負担は低い方」が10年経って負担になっている。スキー場、温泉なども複数必要かもある。
住民も職員も応分の負担は必要と思う。議員定数の削減の考えは。報酬を下げるとなり手がなくなるので。	市長	議長に伝える。
ふれあいタクシーをやっているが、値段が違うのはおかしい。既得権益ではなく、高い方に合わせるべき。	市長	江刺は遠距離が多かったため、上限を決めたことは好評だった。患者輸送だから只とかは確かにおかしい。ずっとやっていける程度の料金設定は必要。
p2グラフで、H30～R5は交付税は横ばいではないか。財調は実態で、交付税は希望か。	市長	交付税は厳しめの見込み。財調は今の歳出と歳入から見た見込み。歳出過多ではあるが、そこまで悪いわけではない。毎年、少しでも残せる体力をつけたい。
既存インフラの長寿命化は必要。予防保全すべき。	市長	屋根は雨漏りしてから直すより、その前に塗りなおした方が安く済む。長く使うものは予防保全の考えで取り組む。
市有財産の売却で具体的にあれば。	市長	胆沢、前沢には廃校が多くある。学校は各地の便利な場所にある。有効活用、売却すれば活性化になる。使わないが維持費がかかっている。
市有財産の売却・利活用の効果額5.9億の内訳は。	行政経営室主幹	学校跡地が5億。区画整理事業分が9千万。
p1の棒グラフ、H23は61.2万円がH24に1.7万円増えた。公社の借金は85億でよいか。	市長	お見込みのとおり。

【伊手地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
-------	------	-------

県内とか全国に誇れるようなものはあるか。	市長	ふるさと納税が返礼品を出してから伸び、R 1で7億。県内2、3番目。岩手の4つある民芸品のうち2つは奥州市。ブラックホールの撮影に水沢の天文台が活躍。大谷翔平。県内でも1、2位を争う力がある。PRの仕方と費用によりますます発展する。
大きな事業はあるか。	市長	学校統合を進めて行かなければならない。住民理解が得られれば学校建設。合併後の大型事業は一通りやった。
I L Cが来ることに伊手でも期待しているが、状況は。	市長	欧州の物理学会では、日本に建設することに反対していない。分担金が課題となっている。基礎の学問であるため、すぐに回収できない。維持費で年間500億と言われており、メンテナンスなどでヒト・モノ・カネがここに落ちる。負担割合を政府が決断することを待っている状況だが、コロナで止まっている。
競馬、病院、公社の経緯は。	市長	確実に清算できる仕組みを作り、返し終わてはいないが、確実に残高は減っている。水沢病院も借金はない。内部留保が20億程度ある。競馬もコロナの影響があったが、今年も1億5千万黒字の見通し。
市役所窓口がグループ制になり、どこにいったらいいかわからなくなった。もう少し整理できないか。	市長	グループ制はどこかの窓口に行ってもわかるように指示している。
3年で29億となっているが、達成度の確認、実現に向けた本気度をどのように知らせるか。	行政経営室主幹	今週、庁内の課長補佐クラスを集めて説明した。総合計画のローリングもスタートを早くした。市民へどう説明したらわかりやすいかは検討中。広報等の活用など。
	市長	9月に出す決算での財調残高が一番わかりやすい目安。貯金を貯めるために市民に負担を強いるのが適切かどうかという議論もあるが、他のわかりにくい指標よりはわかりやすい。
病院で20億の内部留保があるとのことだが、H19に総務省のアドバイザーを呼んで水沢病院の診断を受けたことがあった。昨年9月に厚労省から公表された県内10病院に水病、まごころ、江刺が入っている。今の状況は、H19当時より悪くなっているのではないか。新病院建設は慎重に検討すべき。	市長	流れ、分析はそのとおり。単純な建替ではできない。介護医療について、医師会の協力でゼロから状況を調べた。7/27に第1回目の医療介護関係者に計画を示す。二段階。県からの理解を得る。その理解を基に市医療局をどうしていくか。今年度の3月に市医療局がどうなるかを示したい。
学校再編について、スピード感をもってやって欲しいと5年前に言ったが、現在の考えは。	教育長	以前は適正規模の説明会を行った。再編計画は今月末に検討委員会に具体案を示す。複式学級11校中9校が江刺。中学校を部活ができる規模にしてほしいとの保護者の要望もある。スクールバスについても検討が必要。

【米里地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
-------	------	-------

<p>米里保育所がR 3年3月で閉所。東部のこども園の建設予定があるようだが、閉所と同時に開所が望ましかった。江刺一中にスペースがあれば、東中、南中と一緒に入れないか。または旧岩谷堂高校校舎を借りてはどうか。空いた両中学校に、統合した小学校が入ればよい。さらに、空いた玉里小学校に東こども園をつくるのはどうか。</p>	<p>教育長</p>	<p>いろいろアイデアとしてなるほどと思った。東こども園は進めている。場所の候補はあるが決定はしていない。小学校、中学校の統合と合わせてとの意見もある。複式学級がある学校は市内で11校。黒石、胆沢愛宕、残り9校は江刺。今月末に再編検討委員会を開く。いろいろなアイデアを検討委員会を出していただく。10年度までには市全体のプランを考えていく。中学校の統合は、江刺東、江刺南が生徒数が減り、部活動が成り立たなくなっている。部活動のため、他の中学校に入学するという話も聞いている。一中に入れる案は、教室数は大丈夫だと思うが、問題は通学手段。時間をかけて検討していきたい。</p>
<p>平成の大合併をやった近隣他市も同じような状況なのか。合併しなかった金ケ崎、平泉の状況は。</p>	<p>市長</p>	<p>一関、花巻は編入合併。既存の行政サービスのルールを比較的スムーズに移行できた。そのうえで合併の特例を活用できた。さらに、一関は全市過疎。奥州市は江刺のみ。合併時、サービスは高い方に、負担は低い方に合わせたことが、今となって負担となっている。インフラ整備、借金総額の減少は合併効果。金ケ崎町の人口減少は奥州市より少ない。大きな変化はそれほどなかったのでは。平泉町は相当苦労しているようだ。世界遺産も通過点になっている。</p>
<p>p 4 使用料と減免基準について、米里地区センターはほぼ地区民の利用。公民館時代から高齢者の活動など。付加使用料はやむを得ないが、使用料がかかるのは、年金生活者が楽しく利用している現状から、配慮して欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>使用料は今月末に再度説明会を開く。地域の事情もあるが、一定の基準も必要。振興会毎のルールが必要な場合もある。他方、施設を使わない人からは、利用者が負担すべきとの声もある。地域の元気がなくならないように。</p>
<p>合併効果がうまくでない理由が、水沢と江刺の2市が合併したからか。</p>	<p>市長</p>	<p>病院は特例債を借りてすべて返した。20億の内部留保もある。これからどうするかは別の話。土地開発公社は水沢だけではなく、郡南（前沢）も1/4あった。H24に整理し、土地を売ったお金で繰上償還も進めている。競馬は、コロナの影響があったが、今年も黒字が見込める。県から借りて競馬組合に貸した分の返済が年2億程度。2500～3000人の関係者が県内での産業。</p>
<p>診療所跡地のゲートボール場を売ったらどうか。</p>	<p>市長</p>	<p>売れるよう努力する。</p>
<p>今話があったのは、合併協議会で話があったこと。通常の行政サービスが損なわれないように進めて欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>批判を極力うけないようにする。</p>

【田原地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
<p>想定外の収入源とのことだが、交付税が減ることはそもそも分かっていたのではないか？ 今回の取組もやってみないと分からないのではないか。市有財産も予定通りに売却できるのか？</p>	<p>市長</p>	<p>サービスは高い方、負担は低い方という考え方で合併当時から進めており、住民負担をかけないようにしながら歳出の抑制ができなかった。実態に見合う住民負担に変えていこうというもの。今後も想定外ということはあり得ることから、収入に見合う歳出規模に変えていかなければならない。状況に応じた財政構造にしていき、合併市として柔軟な対応が取れるようにしていく。最小の経費で最大の効果が発揮できるようにすること。そこが職員の頑張りどころでもある。</p>

補助金の整理合理化において、公益性のある施設、団体に対する補助金とは具体的にはどのようなものか？	行政経営室主幹	補助金の施設運営補助は、観光物産センター、福祉センターなど。団体運営支援は商工会議所、社会福祉協議会、体育協会などが主なところ。
減免の割合縮小について。自治会館はこれまで通りか？	市長	協働のまちづくりのため、自治会が集まる際にも負担とはならないので、地域団体からは取らない方法で検討している。しかし、冷暖房、照明代のみは払っていただくとありがたい。定期利用団体が3ヶ月前から予約して、予約日に人集まらないから使わないという例もあると聞く。地域活動に水を差すようなことのないように地区振興会と相談しながら進めたい。
5ページの数字は市では何をこうやりたいというものを積み上げて出したものなのか？これまでも構想だけで時間切れを繰り返してきた。特例は一過性のもので、それを恒常的に見てしまうと予算は組めなくなる。何をやりたいのかを説明会で示してもらわないと。	市長	5ページでは金額だけを示しているが、ただ数字を書いたわけではない。市では様々な基金があり、穴埋めのような財政運営はしていない。今回は財政調整基金のみを示して説明したもの。
基金も地域振興基金など様々なものがあるが、それらも財政調整基金に積み上げたように見せているのでは？	行政経営室主幹	来年度の事業の組み立てはこれからで、現在は行政評価を終えた段階。総合計画は変更せず、29億円の枠の中でどうしていくかを今後詰めていく。向こう3年間の事業内容が固まった段階で何らかの形をもって示したい。
使用料を実績払いしているところがある。例えば週5日予約して、3日しか使用しないので、3日分だけ使用料を支払う。そのような根本的な部分の見直しをしないとしないのではないかと。取組の全体に占める使用料の金額は大きいものではないかと。	行政経営室主幹	使用料の後払いについては、指定管理者の事務負担とならないようにしていきたい。
利用の多い街場の地区センターが大変だというのは分かるが、ここではJAと契約して手数料を払い納付書払いとしている。ルールは前払いとなっているのに、どうでもいいということにはならないだろう。	市長	指摘の分については、より分かりやすい説明が必要と思う。使用料は、原則ということではなく、前払いということを一統しないとならないだろう。使わない分の料金を払わないでは、予約の意味がない。規律を守って利用者には協力いただけるような仕組みとしたい。
田原小の教育振興運動の会長をやっている。人件費の削減分に関連するが、教振の市の担当者は非常勤の方。市職員を1,400人から1,000人に減らしたそうだが、市職員は大事で、災害となれば昼夜を問わず働いている。一方で役所も我慢するべきとの見方もある。役所の人数を減らすことに成果を求めるのはいかなものかと思う。	市長	人は大事にしていきたい。働く環境をいじめるのではなく、働き方改革で仕事の効率化を図り、できるだけ定時で仕事を終えるようにしていきたい。少なくなった職員に負担を求めるのではなく、スマートな仕事ができるようにしないとしない。

【藤里地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
使用料の見直しがあるので利用団体も今日は来ている。この地区センターは地元利用がほとんどで、今までは免除であった。サークル団体が多いが、負担増となると利用回数は減るだろう。地区センターはそういった団体の拠りどころの施設。街場と山間部では違うので、一律に決めるのではなく、地区にあったものにしていただきたい。	市長	地域をよくするための活動をしているのに地区センターの利用で料金を負担するのかという意見もあり、そこは頂かないつもり。岩谷堂と藤里では違うので、地域の個性を犠牲にしてまでとは行かない。一方で冷暖房代は負担していただきたいというのが本音。料金後払いで、団体の都合でキャンセルとなると利用実績分しか支払われないケースがあると聞く。そのことにより、他団体が利用できないことにもなる。この内容については、地区振興会との話し合いをした上で、妥協点を見つけていきたい。施設を利用しない市民も多数いるので、市民全体としての不公平感がないようにしないとしない。一律の取扱いとはしないので、声を聞かせて欲しい。

指定管理で地区センターを管理しているが、まちづくり交付金は今年度で区切りの年となる。全体的な枠が減らされないようにしていただきたい。まちづくり交付金が減るのであれば、別の部分で担保して欲しい。	市長	私の協働のまちづくりの理念そのものなので、しっかり声を聴きながら対応していきたい。まちづくり交付金を止めるなら、もっといい新たな制度にするなど、知恵を絞って歳出抑制をしていきたい。
人口減少に対する対策は？岩谷堂と比べて、この地区の人口減は顕著であるので。	市長	地域によって人口減少の違いはあるが、30地区のひとつとも欠けてはならない。大きい地域が強いというわけではなく、小さい地域ほどまとまりがあり、大きな力となる部分もある。まちづくりをすることで借金が増えたとはならないよう、応分の負担はいただくが、力になっていくこと。皆で支えあい互いを認識する地域こそが幸せと思う。そのための支援をしていきたい。
交付税が減った要因は？工業団地への企業誘致の計画など、もう少し収入増についても触れるべきではないか。	市長	10年後からの激変緩和措置とのことだったが、目論見以上の削減幅であった。収入増の取組としては旧江刺市の工業団地には合併後、100%の誘致ができ、企業が増え、雇用の場ともなっている。自前で金を集められると交付税は減る仕組み。ふるさと納税は増加傾向にもある。
事務事業の見直しで3年間で29億円はハードルが高いように感じる。職員の知恵と工夫に期待したい。補助金交付先団体とも上手に協議しないと達成できないだろう。3年間でうまく進むように、市民サービスには影響が少ない範囲で進めて欲しい。まち人仕事の事業ではいい事業があるので、そういったものは残すというメリハリが聴いたものとしていただきたい。	市長	事務事業の見直しは職員のやる気と実行性が問われる。相手方に関心を持って協力いただけるかを理解いただく。予算が無いからできませんだけでなく、上から目線になることがないように、理解協力をいただくものとしなければならない。
地区要望は減るものではない。財政健全化で実現率はダウンするだろうが、地域の優先度、緊急度には配慮していただきたい。	市長	聴くだけ行政とはならないようにしたい。地区要望をしても無駄と思われるのはまちづくりは進まない。真に必要なものをピックアップして要望していただければ。
今回の計画では、交付税を160億円のままで見込んだのか？これが減った場合は計画を見直すことになるのか？	市長	合併後10年の激変緩和の5年でこれまでは過ごしてきた。今後は、合併前のルールの本質化を図り、民でできることは民に委ねる、ひとつの奥州市として効率化したものとしていきたい。

【玉里地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
なぜこれだけ急に苦しくなったのか？単年度赤字でも黒字回復がこれまでだったと思うが。	市長	交付税の段階的削減が蓋をあけてみたら想定以上であった。合併15年で効率的な行政運営、ひとつの歳出のルールとしていく。スマートな運営をしたい。
再度、想定外という話にはならないか？	市長	歳入に見合う歳出の体質を作る。長期に渡って必要なものには投資していく。3年程度での見直しは必要となるだろう。市民に状況を明らかにする情報発信をしながら進めていきたい。
説明内容は暗くなるイメージのものばかりだったが、明るくなるものもやってもらわないと、奥州市では暮らしたくないと思われる。玉里地区では、学校問題もあり、一家で街場に引っ越すという例も多々ある。	市長	学校統合は早くとの声が多い。移住されるので、その地域に居続けていただくためにとの声。学校再編に係る費用を削るつもりはない。明るい話題は工業団地。令和7年を待たずに誘致活動を進めていく。ふるさと納税も7億円まで来た。

	教育長	学校再編は今月末に委員会へ原案を出す。小学校は複式学級解消、中学校は部活のできる人数の確保。案に対する地域の意見をいただきながら、子どもたちのためにという部分を第一として進めていきたい。
使用料の見直しについて。現在はほとんどの団体が免除となっているが、今後は老人クラブにも負担させるとのこと。トレーニングセンターは週2回、地区の老人クラブが卓球で使っている。施策で片や高齢者の健康づくりを推進しており、片や使用料を納めるといのはいかがなものか。地区振興会は免除らしいが、それ以外は負担となると協働のまちづくりと逆行するのではないか。高齢者や地域で頑張っている団体は免除を考えてはもらえないか？	市長	子どもたちの育成と合わせ、シルバー世代の健康づくりはどうなのかということ。地域性の違いもあり、30地区が一つのルールで成り立つのかともなる。一律に真っすぐな線ではなく、地域の特性に合わせたものにしていく必要がある。 料金後払いでキャンセルにより料金を払わないなどのケースもあると聞く。地域の声を聞き取って結論を出したいが、冷暖房代だけは負担していただきたいと考えているので、理解と協力の範囲で丁寧に進めていきたい。
子どもたちの陸上教室を行っている。中央運動公園の陸上競技場を利用し、冬場の11～3月は玉里、愛宕小の体育館を利用している。有料となるのは仕方ないが、陸上競技場はフィールド部分はシルバーが草刈りをしているが、トラック部分は草が生えている。有料とするからには一定の管理をお願いしたい。	市長	管理がされていないのに有料化はどうなのかとなる。値上げしておきながら、サービスが低下したとはなってはいけない。例えば年間50回の利用となると、相応の負担を伴うこととなり、子どもたちの健全育成のためには、一定の配慮が必要と考えている。練習をしないと上手にはならない。田舎の有利性を出せるようにしたい。
老人卓球を行っている。90代もいるが、やっている人は足も丈夫で認知症にもならない。一律の使用料をかけられると人数少ない地域で利用はかなりの負担となるので、検討をお願いしたい。	市長	3年前にラージボール卓球大会があった。仲間作りと体づくりの両方の側面がある。使用料負担で練習から離れるではないので、妥当な範囲でいい方向にしていきたい。
太陽光発電を家でやっているが、施設の利用団体の小さいところへの負担を求めるとは、地区センターや学校に太陽光を導入してもいいのではないか。水沢江刺駅の駐車場が無料で助かっているが、沿岸部からも無料なので来ている。財政が苦しいのであれば、無人で料金を徴収できる仕組みを構築してはどうか。低料金でもいいので収入を得る仕組み。	市長	設備費用はかかるが、自然エネルギーの活用は国も推奨している。電気料を考えると3年くらいでもとを取れる場合もある。 水沢江刺駅の駐車場については、高架下部分はJRの所有で有料化された。議員からも市営分の有料化の意見をいただいている。頂戴した分を協働のまちづくりや地域活性化にということになれば、利用する側も納得となるかと思う。駐車場が無料だからというように使っているケースも多い。長期的な利用には料金がかかるという仕組みもあり得る。受益者の負担を考えないとならない。

【梁川地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
競馬場問題はどうなっているのか？100億円の融資は貸付金なのか、未収金なのか？	市長	これまで1度だけ1千万円くらいの返済があった。市は債権者。競馬に関わる市民の雇用と生活が支えられている。廃止となれば全て終わりなので、安定運営を求めているところ。
単年度赤字で即廃止だが、その場合の貸付残高はどうなるのか？	市長	競馬場の後始末に係る費用も求められることが想定されるので、相応の協議は必要。この問題における県の責務は大きい。
この問題は長引くだろう。民間であれば融資は財産計上。人件費削減における職員数の減は自然減のようなもの。給与について、国を100とすると市はどの程度か？	市長	ラスパイレス指数は98.8である。いずれ絵に描いた餅にならぬようにしていきたい。

進まぬ歳出抑制の原因が説明されていないが。	市長	例えば市営バスの料金は低い方に統一した。よって市の持ち出しが増えた。スキー場なども持ち出しをしながら営業している。今あるものを無くすことは相応の調整がかかる。今後はサービスに対する適正な負担を求めようと変えていくもの。これまではそれが詰め切れていなかった。職員数も400人弱を減らしたが、これ以上までは減らせないとこまで来ている。スリム化するための意識改革。歳入歳出のバランスあるものとしていく。
取組の効果額の達成度合いについては、市民に公表して欲しい。	市長	5ページの部分の結果が成績表にもなる。来年度の決算が出た段階で分かりやす公表を検討したい。

【広瀬地区】

質問・意見	市発言者	回答・説明
ふるさと納税の現状と将来の見通しは。	市長	返礼品がない6年くらい前までは500万円ほどだった。返礼品を始めたら2億になり、昨年度は7億。県内でも上位。売るものがたくさんあることが分かった。PRをうまくやれば10億いくのでは。ふるさと納税の収入増では交付税は減らない。広瀬に泊まりに来てもらって郷土芸能の発表を見るような方法もある。
当地区でも人口が減っている。特に子どもが減ってきており、体育行事ができない。医療費助成の拡充や教育費の負担減をすべき。	市長	これまで2つの部署でやっていた空き家対策を一つにまとめて力を入れている。二地域居住から初めてもらうなど。インターネットなどの通信環境が重要。医療費は高校まで1/2助成している。入院の自己負担は5000円まで。高校まで全額助成すると1.5億円かそれ以上かかる。ほかの予算の削減とどちらを取るか選択する必要がある。新たな工業団地の整備も予定している。
土曜の保育所で、預ける子がいなくても保育士が3名来ている。保育所長が名誉職で中学校の校長OBになっているが、保育に関わらない。見直しが必要では。	市長	全市的には新たな施設ができるが、保育士が不足している状況。土曜日の件は、確認し対応する。所長は、最終的には市長が決裁して決定しているが、その分野に明るい人がなることが望ましいので、検討する。
広瀬保育所は江刺の工業団地一番近いので、働きに来る方が預けやすいのでは。	市長	新たな工業団地を造成するが、通勤の途中で安心して預けられる場所が必要。住んでる場所の近くではなく、職場の近くに預けたい親も多い。知恵を絞りたい。
今回示した改革は、内容は理解するが取組が遅かった。多少の痛みは覚悟してやらなければならない。英断をもって実行してほしい。	市長	合併したのに、江刺だけいい、胆沢だけいい、という状況にはできなかった。これから発展するためには、毎年赤字ではできない。6項目の取り組みを進める。
	副市長	職員の給与、手数料などのばらつきを15年かけてならしてきた。民間なら不採算部門はばっさりカット、人員整理をするが、自治体ではなかなかできない。6つの重点項目を進めることで対応していく。

<p>公共施設の整理・合理化について、市内に7つある野球場を有効活用して欲しい。奈良県宇陀市は人口3万4千人くらいの市で、還暦野球の全国大会を開催しているが、球場が足りず近隣自治体の球場も使っている。</p>	<p>市長</p>	<p>シルバースポーツは人気がある。以前、ラージボールの大会をZアリーナ、江刺中央体育館、西体育館で開催したことがある。試合に合わせ旅行もする。壊すにもお金がかかるので、いい方向になるように努力する。</p>
<p>市有財産の売却・利活用について。宮城からきて農業を始めた人がいるが、水がなくて困ったことがあった。消防ポンプを使うなどの対応ができないか。</p>	<p>市長</p>	<p>胆沢ダムができる前は水不足があった。ポンプの練習のためなど、融通が利かせられることがあれば、柔軟性を持って検討したい。</p>
<p>人件費の抑制について、コロナや地震など、地域防災組織があるが実際は動けない。考えて欲しい。</p>	<p>市長</p>	<p>人件費は時間外の削減で毎年5千万、3年で1.5億。財政健全化と合わせ働き方改革を進める。職員の意識改革も含めて残業を減らすもの。いざ災害となったら、しっかり対応する。</p>
<p>医療介護計画の案が示され、100床減少となっているが、安心して医療を受けられるか心配。</p>	<p>市長</p>	<p>総合的に安心できる状況になるように努力する。</p>
<p>施設使用料の10%増について、10回利用すれば1回無料で使えるようにすれば負担が増えない。</p>	<p>市長</p>	<p>検討する。</p>
<p>市有財産の売却・利活用について、福祉関係で、市有地を無料に近い価格で使っていると聞いたことがあるが、適正な料金設定か、あるいは売却すべき。そのような資産がたくさんあるのでは。</p>	<p>市長</p>	<p>基本的な方針として、そこまでできるかどうか。社会福祉法人との関係もあり、施設が減らない、なくなることが重要。</p>
<p>人口減について、子どもだけに目がいきがちだが、元気なお年寄りが増えれば人口が減らず、医療費がかからない。</p>	<p>市長</p>	<p>元気で医療費がかからないお年寄りが増えるのはいいこと。地域づくりの一助になる。</p>